

平成26年度地方都市ガス事業 天然ガス化促進対策調査

(都市ガス安全情報広報事業(需要家等に対する広報))

都市ガスの安全使用に関する意識調査:結果報告書

平成27年 2月 23日

【調査目的】

ガス需要家の都市ガスの安全に関する認識等を把握するため、ガス需要家に対するアンケート調査を実施し、得られた調査結果の分析から、次年度以降の都市ガス安全情報の広報事業に対する提案を行うことを目的とする。

【調査設計】

■調査方法： インターネット調査法

■調査地域： 全国の都市ガス供給都市

■調査対象とサンプル数： ①一般需要家

・20～69才の一般男女個人で都市ガス利用者
計1000s

※男女比率は前年度と同様に、男20：女80とする（年代構成も昨年に順ずる）

②業務用需要家

・下記の業態に属する店舗のオーナーおよびガス機器使用者
計500s

※総合レストラン、ラーメン店、中華料理店、料理・飲食店、そば・うどん店、
惣菜・弁当店、菓子店、パン店、理容・美容院、クリーニング店のいずれか

	調査地域							合計
	北海道	東北	関東・ 甲信越	中部・東 海・北陸	近畿	中国・ 四国	九州・ 沖縄	
一般需要家	100s	100s	200s	200s	200s	100s	100s	1000s
業務用需要家	13s	26s	226s	65s	122s	16s	32s	500s

■対象者収集方法： インターネット調査会社のモニターより有意抽出

【調査実施スケジュール】

2015年2月 6日（金）～2015年 2月 9日（月）

【調査方法の変更点】

回収率向上等のため、業務用需要家に対する対象者収集方法及び調査方法を以下のように変更

【平成24年度まで】

対象者収集方法 : 機縁法(調査員ネットワーク)によりリクルート、電話・訪問による
協力依頼、条件確認を実施
調査方法 : 郵送調査法(自記入式アンケート)

【平成25年度以降、平成26年度】

対象者収集方法 : インターネット調査会社のモニターより有意抽出
調査方法 : インターネット調査法

【平成26年度調査の変更点】

平成25年度調査票より変更のあった点は以下の通り

【一般需要家調査】

①質問項目の削除

⇒「1か月の平均ガス料金」「未既婚」「職業」「同居家族人数」を削除

②質問文・回答項目の変更

⇒平成25年度の調査票から質問文・回答項目に変更点がある場合は※で記載

③追加設問

⇒Q13-3

【業務用需要家調査】

①質問文・回答項目の変更

⇒平成25年度の調査票から質問文・回答項目に変更点がある場合は※で記載

1. 一般需要家調查

Q1 あなたがお宅で保有している「ガス機器・設備」は何ですか。次の中から、あてはまるものを全てお答えください。(いくつでも)

1. ガスコンロ

2. ガス炊飯器

3. ガスオープン

4. 食器洗い乾燥機

5. 小型湯沸器 ※

6. ガス給湯器 ※

7. 風呂給湯器

8. 風呂がま

9. ガス温水式床暖房
10. ガスルームエアコン

11. ガスファンヒーター

12. ガスストーブ

13. ガス暖炉

14. ガス衣類乾燥機

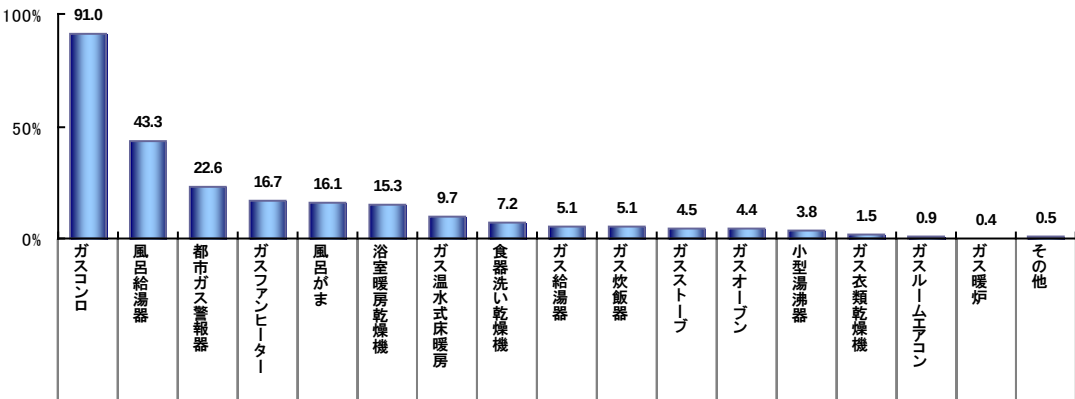
15. 浴室暖房乾燥機

16. 都市ガス警報器

17. その他()

※平成24年度と、質問文、選択肢一部変更 ※平成23年度以前は、「ガス湯沸し器」として聴取(「小型湯沸器」「ガス給湯器」としては非聴取)

【結果】



今回調査(平成26年度)	N=1000	91.0	43.3	22.6	16.7	16.1	15.3	9.7	7.2	5.1	5.1	4.5	4.4	3.8	1.5	0.9	0.4	0.5
平成25年度	N=1000	88.7	48.4	15.8	15.5	13.7	13.1	7.8	6.2	57.9	5.6	5.0	5.7	5.4	1.3	1.2	0.5	0.3
平成24年度	N=1000	98.8	47.6	62.9	16.8	15.7	13.0	9.1	9.6	57.0	3.3	4.2	4.6	26.2	1.6	1.3	0.3	0.4
平成23年度	N=1000	98.8	64.0	63.5	17.4	21.0	11.6	7.0	6.9	※	3.6	3.4	5.0	※	1.9	0.5	0.2	0.4
平成22年度	N=1400	93.9	62.1	60.3	16.4	16.9	14.0	8.6	7.6	※	4.4	4.8	4.6	※	1.9	1.0	0.3	0.4

※は非聴取

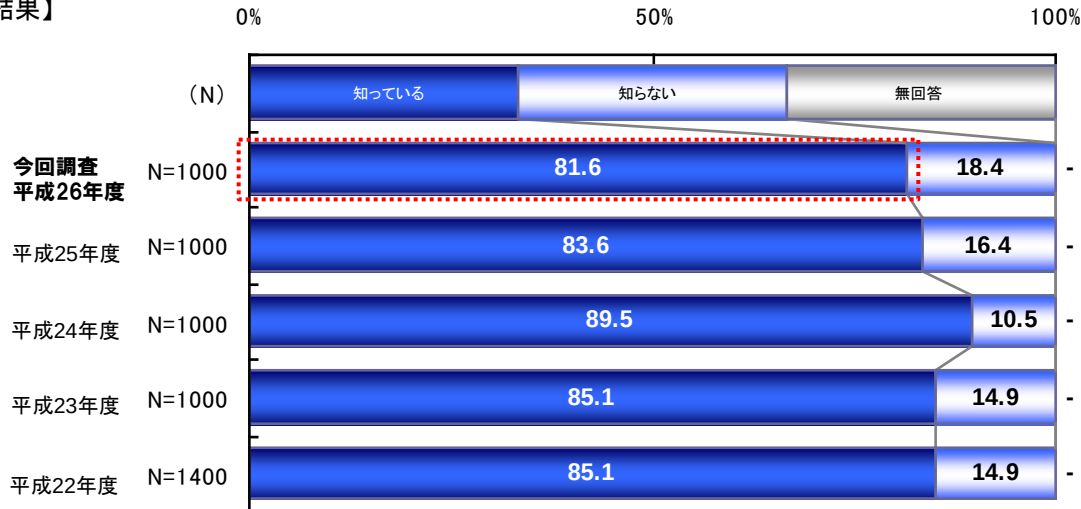
換気をしない状態におけるガス機器の使用が、CO(一酸化炭素)中毒につながる可能性を認識しているのは8割に上り、同時に「無色・無臭」や「死に至る」可能性という特徴も認知されている。

Q3 あなたは、室内でガスコンロ等のガス機器を使用する際、換気をしない状態でガス機器を使用すると、燃焼用の酸素が不足してガス機器が不完全燃焼を起こし、CO(一酸化炭素)中毒になる恐れがあることを知っていますか。
あてはまるものを1つだけお選びください。(1つだけ)

1. 知っている
2. 知らない

※平成24年度と、質問文一部変更

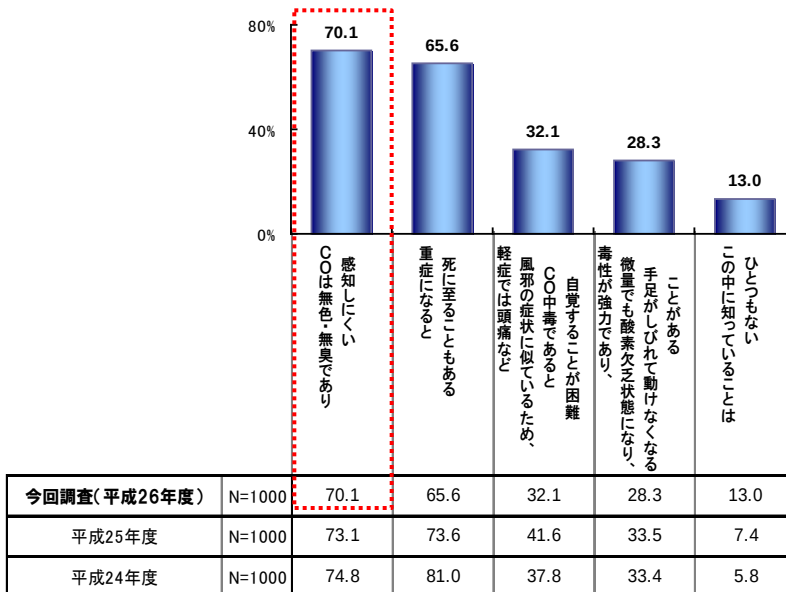
【結果】



Q4 CO中毒の危険性について、知っていることをお選びください。(いくつでも)

1. COは無色・無臭であり感知しにくい
2. 軽症では頭痛など風邪の症状に似ているため、CO中毒であると自覚することが困難
3. 毒性が強力であり、微量でも酸素欠乏状態になり、手足がしびれて動けなくなることがある
4. 重症になると死に至ることもある
5. この中に知っていることはひとつもない

【結果】



※平成23年度以前は非聴取

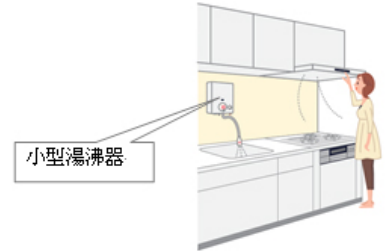
キッチンでのガス機器使用の際に、換気を「必ずする」のは、約4割。「ときどきする」まで含めると、約7割が換気を行っているが、前年度調査と比較すると減少傾向。

【全員にお伺いします】

Q5-1 あなたは、キッチンで小型湯沸器やガスコンロ等のガス機器を使用する際に、換気をしていますか。(1つだけ)

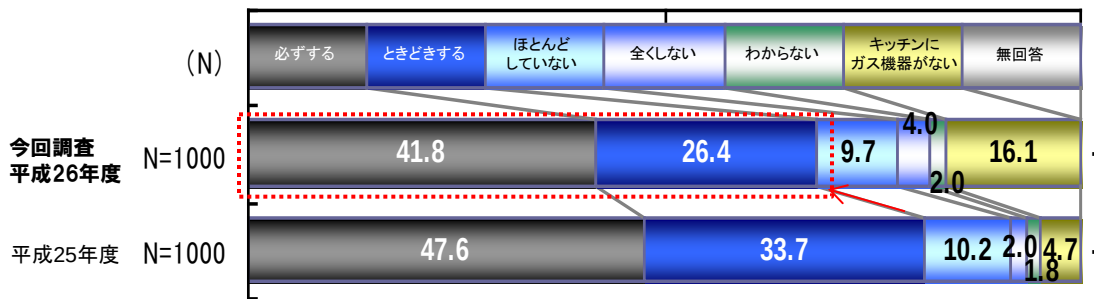
- | | |
|-------------------|--------|
| 1. 必ずする | ⇒Q5-2へ |
| 2. ときどきする | ⇒Q5-2へ |
| 3. ほとんどしていない | |
| 4. 全くしない | |
| 5. わからない | |
| 6. キッチンにガス機器がない ※ | |

※平成24年度と、質問文、選択肢一部変更



【結果】

0% 50% 100%



参考:過去 同様設問調査結果

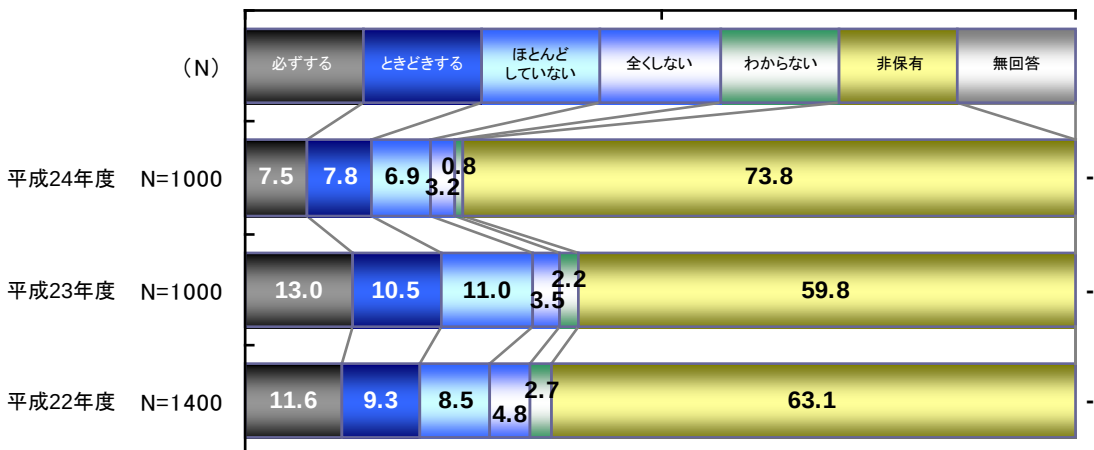
【全員にお伺いします】

あなたは小型湯沸器を使用する際に、換気をしていますか。(1つだけ)

- | | |
|--------------|-----------------|
| 1. 必ずする | 4. 全くしない |
| 2. ときどきする | 5. わからない |
| 3. ほとんどしていない | 6. 小型湯沸器を持っていない |

【結果】

0% 50% 100%



キッチンでのガス機器使用の際の換気は、「室内のにおいをとるため」が「不完全燃焼を防ぐため」を上回っており、CO中毒を防ぐ意識が低いことがわかる。

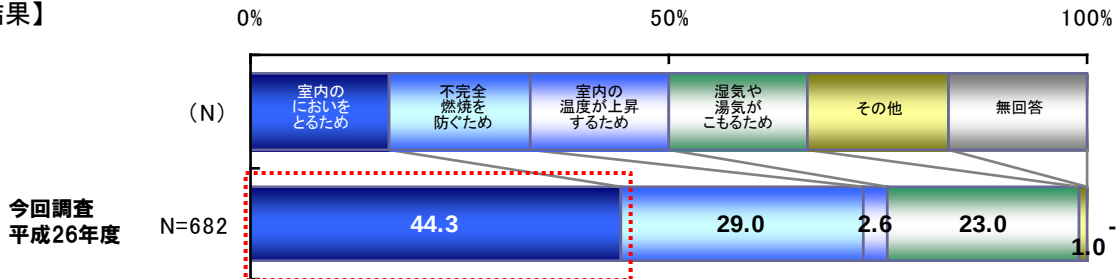
【Q5－1で換気を「必ずする」、「ときどきする」とお答えの方にお伺いします】

Q5－2 あなたがキッチンで小型湯沸器やガスコンロ等のガス機器を使用する際に換気を行う理由を、次の中から1つだけ選んでお答えください。(1つだけ)

- | | |
|-----------------|-------------------|
| 1. 室内のにおいをとるため | 4. 室内に湿気や湯気がこもるため |
| 2. 不完全燃焼を防ぐため | 5. その他() |
| 3. 室内の温度が上昇するため | |

※平成25年度と、選択肢一部変更

【結果】

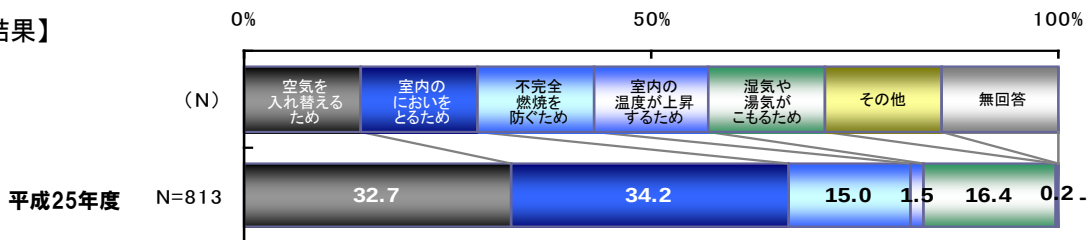


参考: 過去 同様設問調査結果

- | | |
|----------------|-------------------|
| 1. 空気を入れ替えるため | 4. 室内の温度が上昇するため |
| 2. 室内のにおいをとるため | 5. 室内に湿気や湯気がこもるため |
| 3. 不完全燃焼を防ぐため | 6. その他() |

※平成24年度と、質問文一部変更

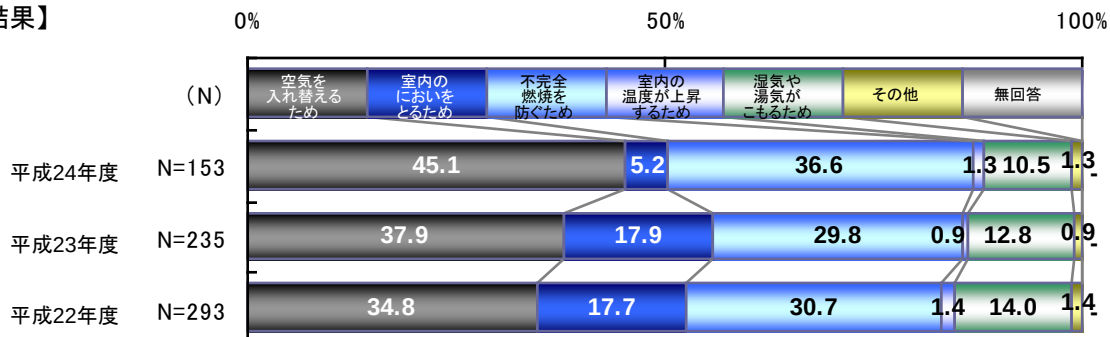
【結果】



【小型湯沸器を使用する際に、換気を「必ずする」、「ときどきする」とお答えの方にお伺いします】

あなたが小型湯沸器を使用する際に換気を行う理由を、次の中から1つだけ選んでお答えください。(1つだけ)

【結果】



約4割弱が、ガスコンロの手入れを「ほとんどしていない」と回答している。
経年で見ると、手入れをほとんどしていない人が増加傾向にある。

【ガスコンロをお持ちの方にお伺いします】

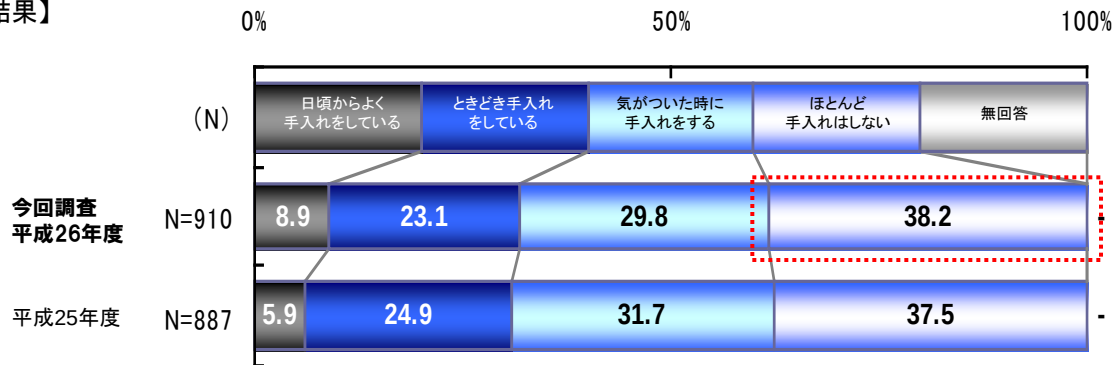
Q6 あなたは、普段ガスコンロの「お手入れ」をしていますか。(1つだけ)

1. 日頃からよく手入れをしている
2. ときどき手入れをしている
3. 気がついた時に手入れをする(大掃除に合わせて) ※
4. ほとんど手入れはしない

※平成22年度以前は「気がついた時にする程度(大掃除に合わせて)」として聴取



【結果】



参考:過去 同様設問調査結果

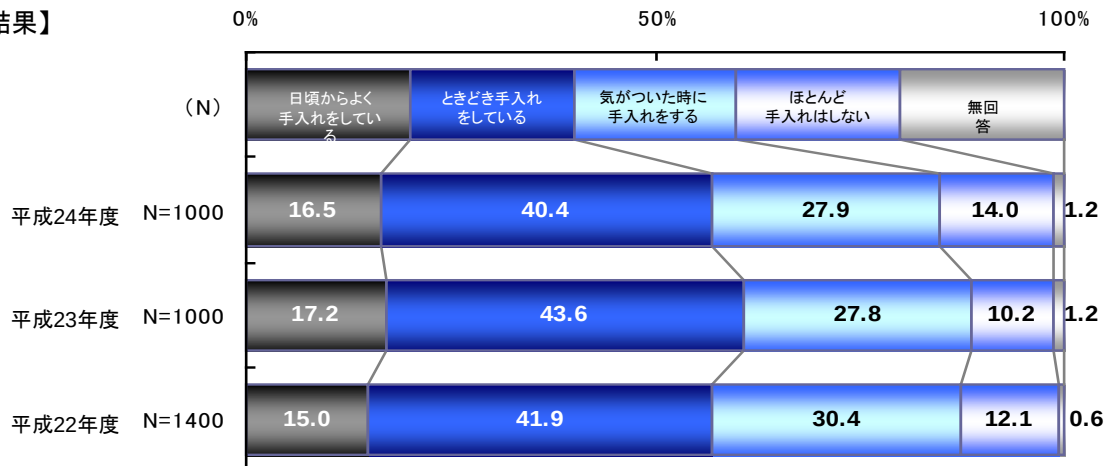
【ガスコンロをお持ちの方にお伺いします】

あなたは普段ガスコンロの「お手入れ」をしていますか。(1つだけ)

1. 日頃からよく手入れをしている
2. ときどき手入れをしている
3. 気がついた時に手入れをする(大掃除に合わせて) ※
4. ほとんど手入れはしない

※平成22年度以前は「気がついた時にする程度(大掃除に合わせて)」として聴取

【結果】



Siセンサー搭載ガスコンロ使用者は、ガスコンロ保有者全体の6割を超えている(「全て」+「一部搭載」計)が、その約半数はそのことを意識せず使用している。
また、Siセンサー非搭載ガスコンロ使用者の約1/5は搭載品の購入意向がある。

【ガスコンロをお持ちの方にお伺いします】

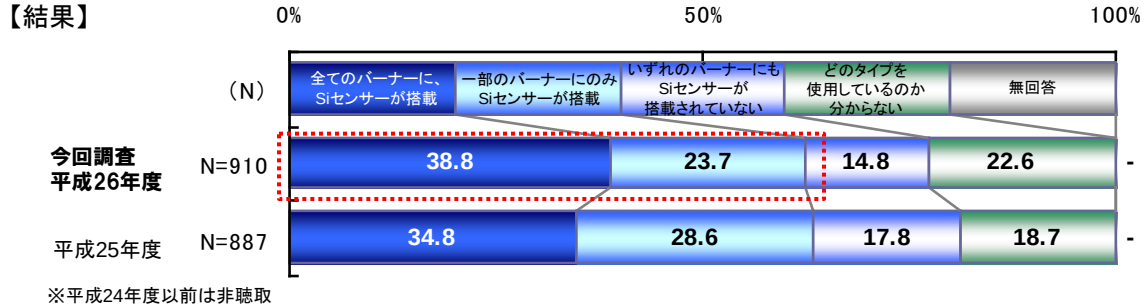
Q7-1 あなたは、下記のどのタイプのガスコンロを使用していますか。(1つだけ)

1. 全てのバーナーに、Siセンサーが搭載されているガスコンロ
2. 一部のバーナーにのみSiセンサーが搭載されているガスコンロ ⇒Q7-2へ
3. いずれのバーナーにもSiセンサーが搭載されていないガスコンロ ⇒Q7-3へ
4. どのタイプのガスコンロを使用しているのか分からない



※Siセンサー
コンロの火を消し忘れた場合の自動消火機能や、油の温度を自動で調整する機能など、ガスコンロの安全機能と便利機能を充実させるために搭載するセンサー。

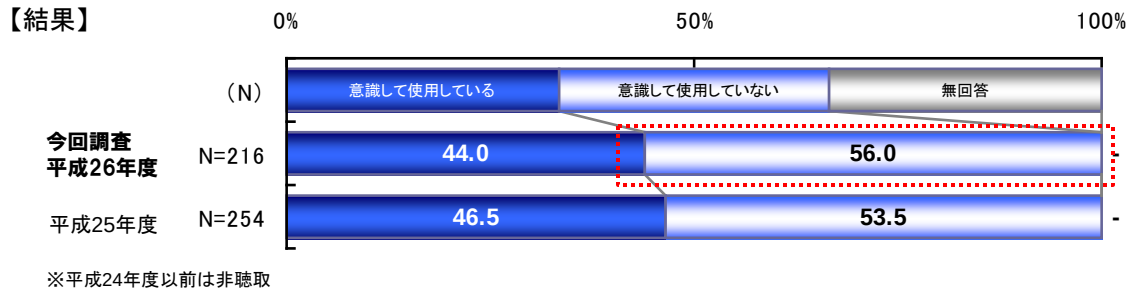
(参考：(一社)日本ガス協会ホームページ)
<http://www.gas.or.jp/renew/>



【Q7-1で「一部のバーナーにのみSiセンサーが搭載されているガスコンロ」とお答えの方にお伺いします】

Q7-2 あなたは、Siセンサーが搭載されている方のバーナーを意識して使用していますか。(1つだけ)

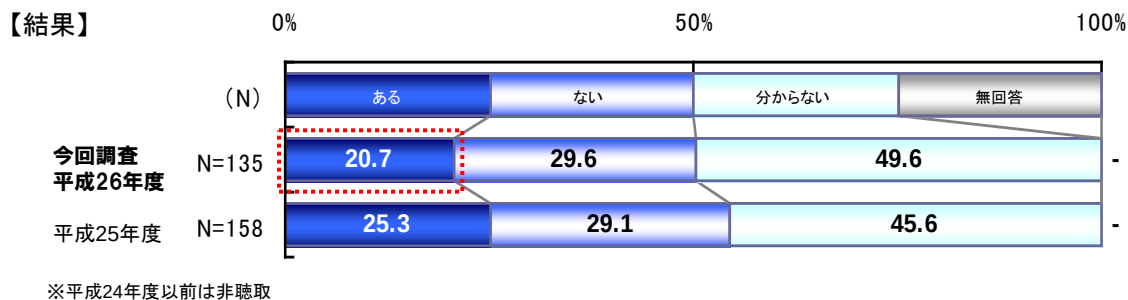
1. 意識して使用している
2. 意識して使用していない



【Q7-1で「いずれのバーナーにもSiセンサーが搭載されていないガスコンロ」とお答えの方にお伺いします】

Q7-3 あなたは、Siセンサーが搭載されているガスコンロに買い替える意向がありますか。(1つだけ)

1. ある
2. ない
3. 分からない



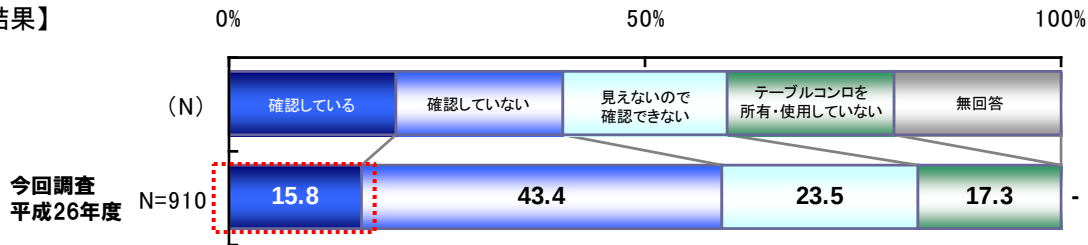
テーブルコンロ保有者で、接続部の劣化状況を「確認している」のは約15%。

【テーブルコンロをお持ちの方にお伺いします】

Q8 あなたは、テーブルコンロの接続具(ゴム管など)の劣化状況(ひび割れ等)を確認しますか。(1つだけ)

1. 確認している
2. 確認していない
3. 接続具は見えないので確認できない
4. テーブルコンロを所有・使用していない

【結果】



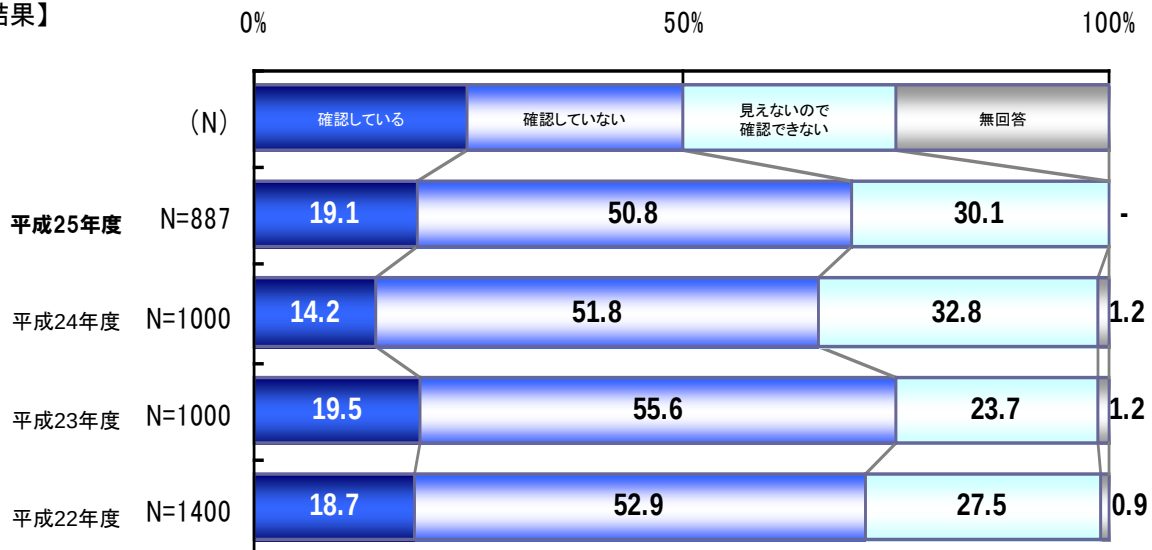
参考:過去 同様設問調査結果

あなたはガスコンロの接続具(ゴム管など)の劣化状況(ひび割れ等)を確認しますか。(1つだけ)

1. 確認している
2. 確認していない
3. 接続具は見えないので確認できない

※平成25年度以前は、「テーブルコンロを所有・使用していない」は非聴取

【結果】



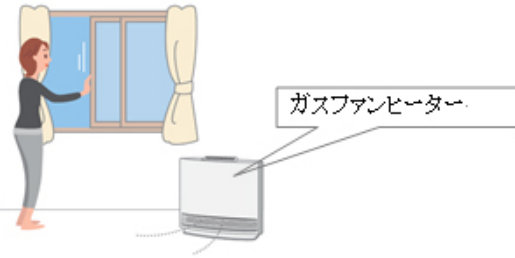
ガスストーブ、ガスファンヒーター使用時には、「24時間換気設備は作動している」を含めると、約半数が「換気している」と答えている。

【ガスストーブ、ガスファンヒーターをお持ちの方にお伺いします】

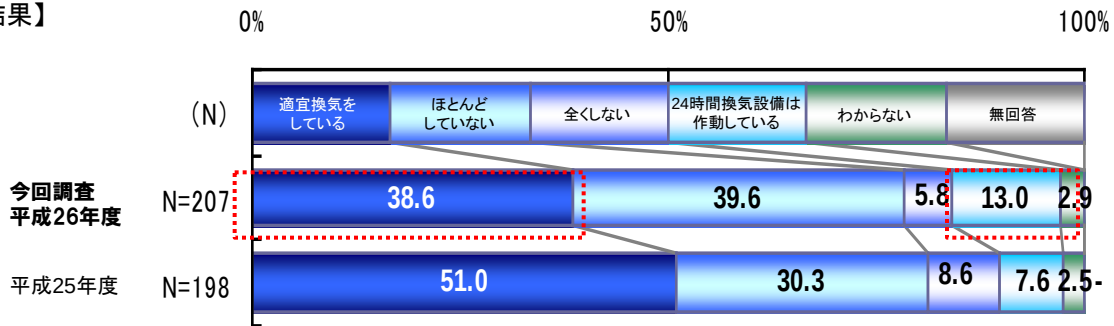
Q9 あなたはガスストーブ、ガスファンヒーターを使用する際に、換気をしていますか。(1つだけ)

1. 適宜換気をしている
2. ほとんどしていない
3. 全くしない
4. 特に換気していないが、24時間換気設備※は作動している ※
5. わからない

※24時間換気設備:シックハウス対策として2003年7月以降に着工した住宅に設置が義務づけられている換気設備。
※平成24年度と、選択肢一部変更



【結果】



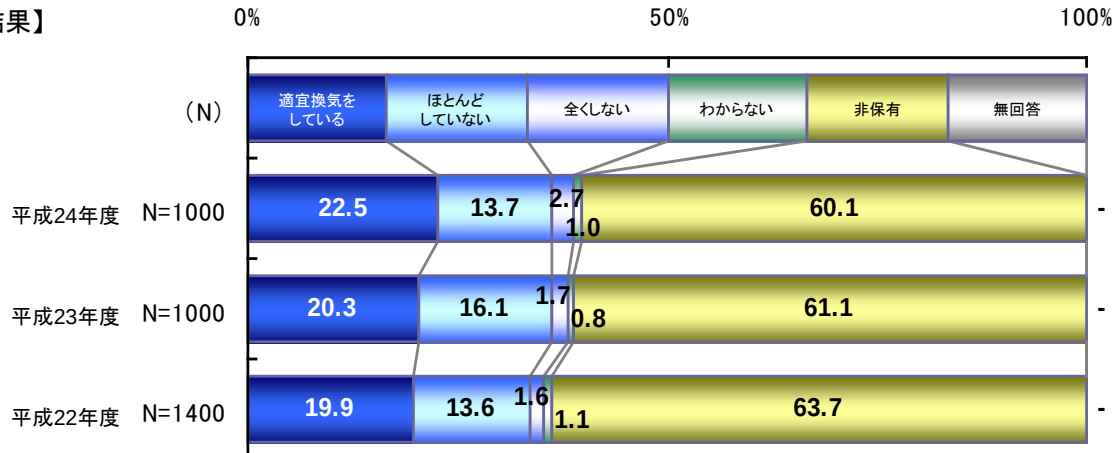
参考:過去 同様設問調査結果

【全員にお伺いします】

あなたはガスストーブ、ガスファンヒーターを使用する際に、換気をしていますか。(1つだけ)

1. 適宜換気をしている
2. ほとんどしていない
3. 全くしない
4. わからない
5. ガスストーブ、ガスファンヒーターを持っていない

【結果】



ガスストーブ、ガスファンヒーター使用時における、ガス栓と接続部の確認においては、約半数が「確認している」と回答。

【ガスストーブ、ガスファンヒーターをお持ちの方にお伺いします】

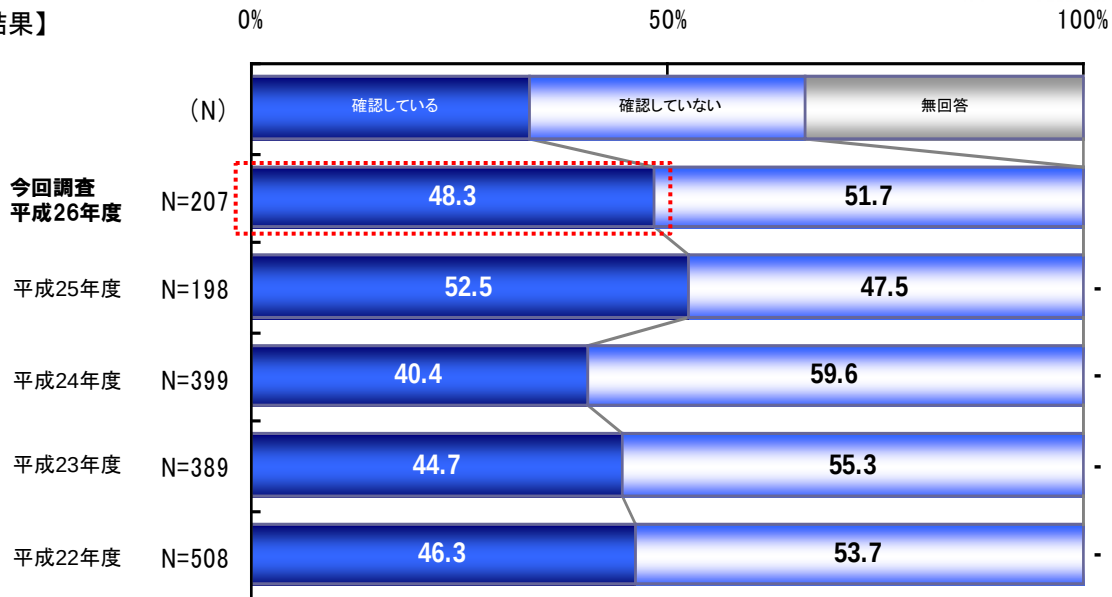
Q10 あなたはガスストーブやガスファンヒーターを使用する際に、ガス栓と接続具（ガスストーブの場合はゴム管、ガスファンヒーターの場合はガスコード）の接続状況を確認していますか。（1つだけ）

1. 確認している
2. 確認していない



ガスファンヒーターの接続イメージ

【結果】



屋外設置のガス給湯器をビニールシートや板などで囲うことで、不完全燃焼が起こることについての認識は、低下傾向にある。

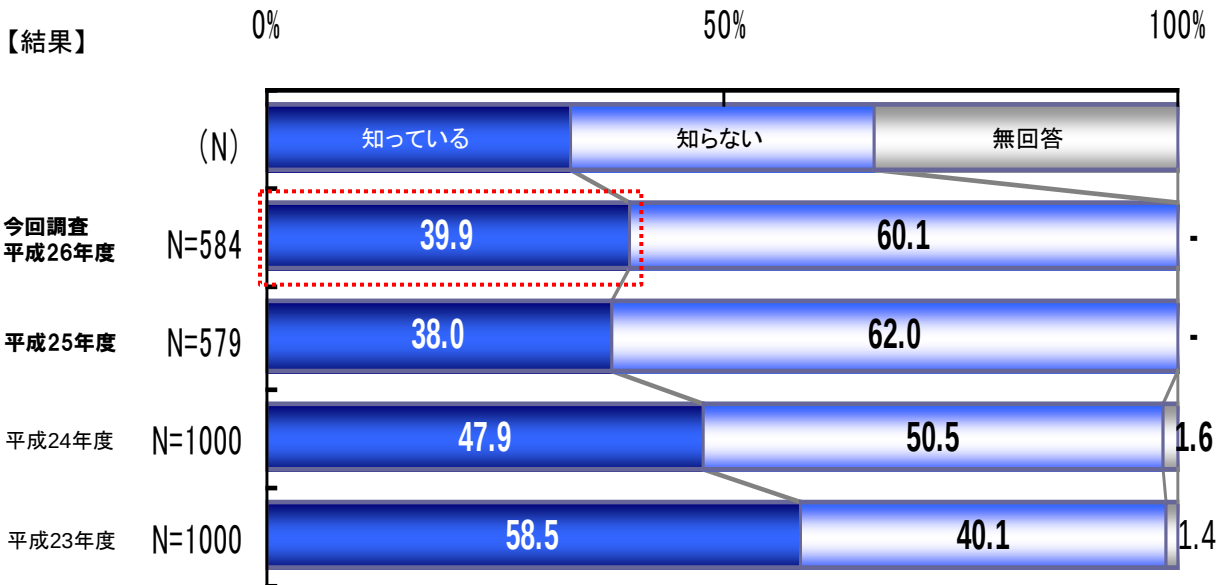
【屋外に設置された給湯器をお持ちの方にお伺いします】

Q11 あなたは屋外に設置されたガス給湯器をビニールシートや板で囲ったりすると、ガス機器が正常に燃焼できなくなり、不完全燃焼によるCO（一酸化炭素）中毒やガス機器の故障の原因になることをご存知ですか。（1つだけ）

1. 知っている
2. 知らない



囲いで覆われた屋外のガス給湯器



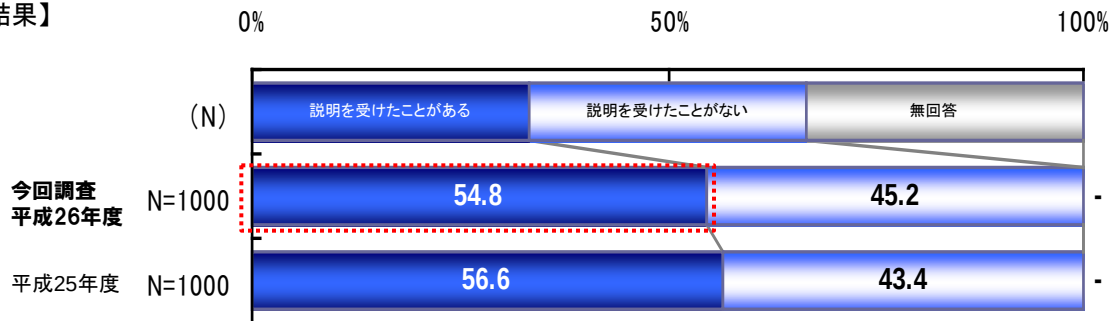
※平成22年度以前は非聴取

開栓時や定期保安点検時に、ガス事業者から安全な使用に関する説明を受けたことがある人は全体の約半数。

Q12-1 あなたは、ガス使用開始時（開栓時）や3年に1度の定期保安点検時などにガス事業者から説明されるガスの安全な使用に関する情報（換気の必要性やガス栓と接続具の状況等）について、説明を受けたことがありますか。（1つだけ）

1. 説明を受けたことがある ⇒Q12-2へ
2. 説明を受けたことがない

【結果】



※平成24年度以前は非聴取

ガス事業者から受けた安全な使用に関する説明を、同居している家族に伝えている人は約4割。

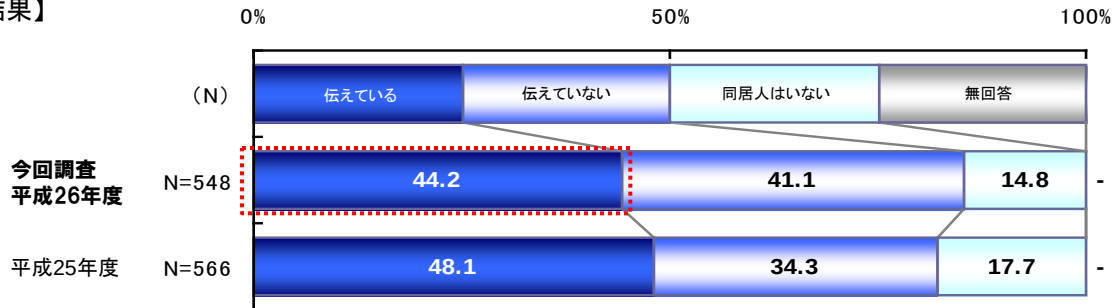
【Q12-1で「説明を受けたことがある」とお答えの方にお伺いします】

Q12-2 あなたは、ガス事業者から説明を受けたガスの安全な使用に関する情報(換気の必要性やガス栓と接続具の状況等)について、同居している家族などに伝えていますか。(1つだけ)

1. 伝えている
2. 伝えていない
3. 同居人はいない ※

※平成24年度と、質問文、選択肢一部変更

【結果】

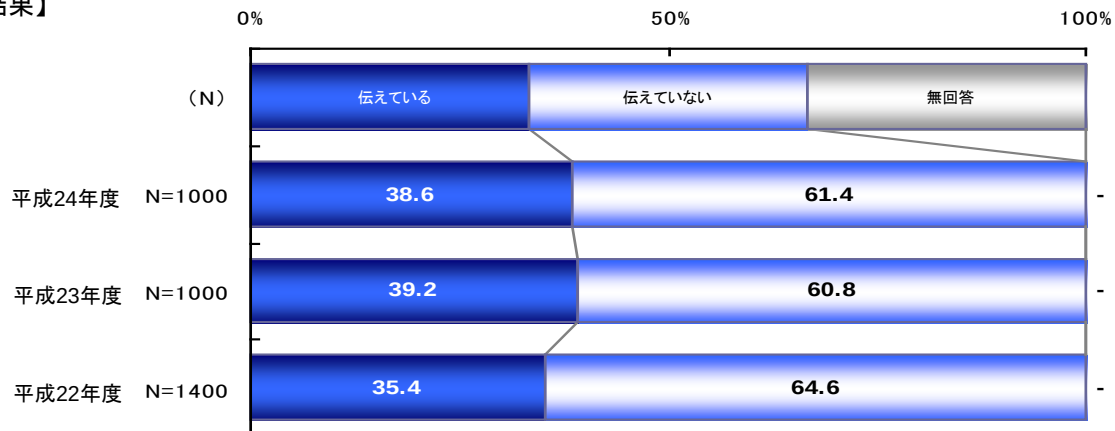


参考:過去 同様設問調査結果

あなたは、ガス事業者から説明を受けたガスの安全な使用に関する情報(換気の必要性やガス栓と接続具の状況等)について、同居している家族などに伝えていますか。(1つだけ)

1. 伝えている
2. 伝えていない

【結果】



ガス臭いと感じた時に行う対応は、前年度とほぼ変わらず「窓を開けて換気をする」がトップ。次いで「使用中のガス機器の火を消す」。

次に、ガスを使用する際の対応などについてお伺いします。

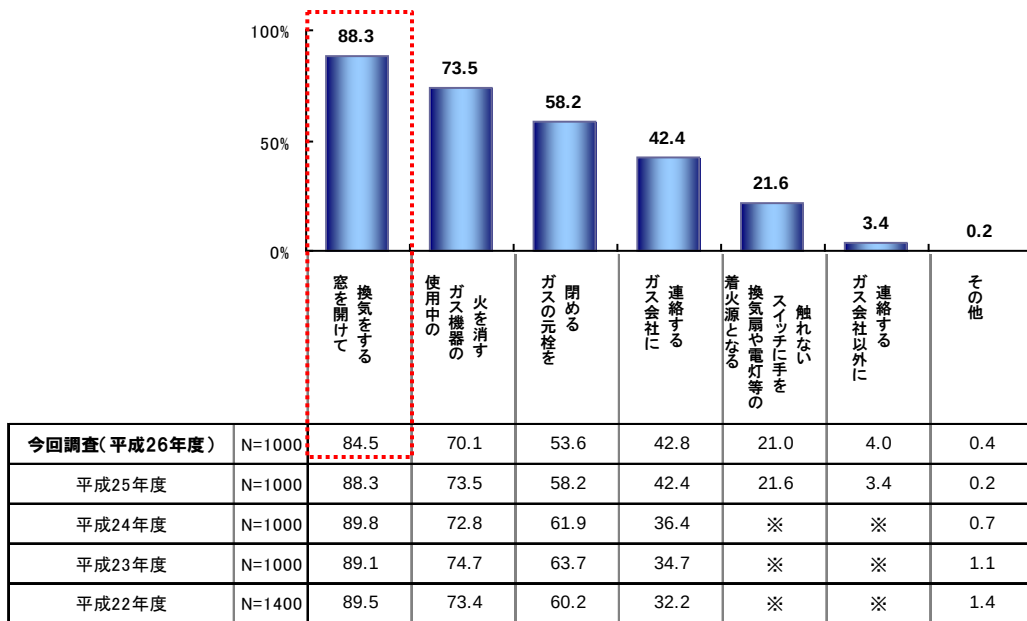
【全員にお伺いします】

Q13-1 あなたは、自宅でもしガス臭いと感じた時、どのような対応をしますか。
次の中から、あてはまると思うものをお答えください。(いくつでも)

- | | | |
|------------------------------|----------------|---------|
| 1. ガスの元栓(ガスメーター近傍)を閉める ※ | 5. ガス会社に連絡する | ⇒Q13-2へ |
| 2. 窓を開けて換気をする | 6. ガス会社以外に連絡する | ⇒Q13-3へ |
| 3. 使用中のガス機器の火を消す | 7. その他 () | |
| 4. 着火源となる換気扇や電灯等のスイッチに手を触れない | | |

※平成24年度と、質問文、選択肢一部変更

【結果】



※は非聴取

ガス臭いと感じた時に「ガス会社に連絡する」人の中で、その理由のトップは「ガス会社はガスのプロであり、安心できるため」であり、増加傾向にある。

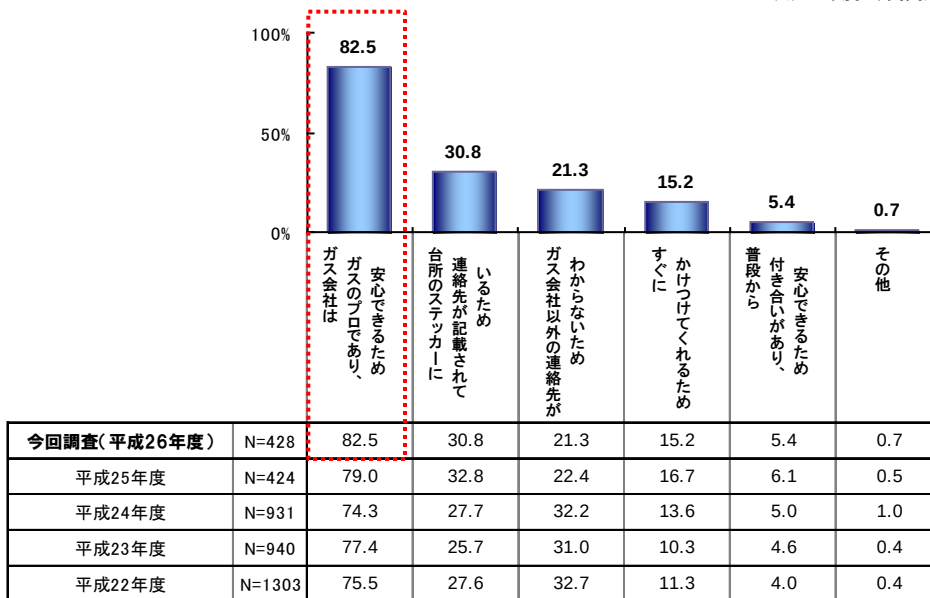
【Q13－1で「ガス会社に連絡する」とお答えの方にお伺いします】

Q13－2 あなたは、自宅でもしガス臭いと感じた時、「ガス会社に連絡する」理由を次の中からお答えください。(いくつでも)

1. ガス会社はガスのプロであり、安心できるため
2. 普段から付き合いがあり、安心できるため
3. すぐにかけつけてくれるため
4. ガス会社以外の連絡先がわからないため
5. 台所のステッカーに連絡先が記載されているため
6. その他（ ）.

※平成24年度と、質問文一部変更

【結果】



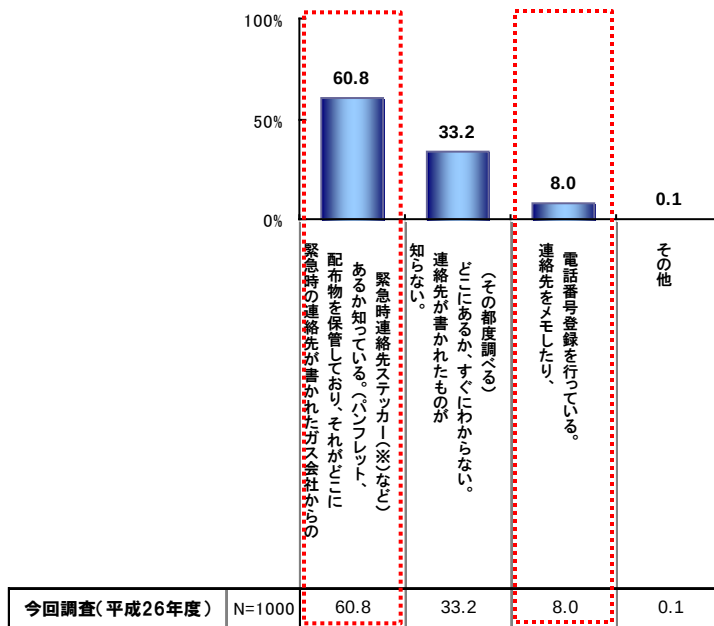
ガス漏れなどの緊急時の、ガス会社への連絡先を把握している人は約7割弱。
中でも、ガス会社からの配布物（パンフレット、ステッカーなど）を保管している率が高い。

【全員にお伺いします】

Q13-3 あなたは自宅でガス漏れなどの緊急事態に気付いた際の、ガス会社への連絡先を把握していますか。(いくつでも)

1. 緊急時の連絡先が書かれたガス会社からの配布物を保管しており、それがどこにあるか知っている。
(パンフレット、緊急時連絡先ステッカー(※)など)
2. 連絡先をメモしたり、電話番号登録を行っている。
3. 知らない。連絡先が書かれたものがどこにあるか、すぐにわからない。(その都度調べる)
4. その他 ()。

【結果】



安全装置の中で一番知られているのは、「立ち消え安全装置」次いで「調理油過熱防止装置」。

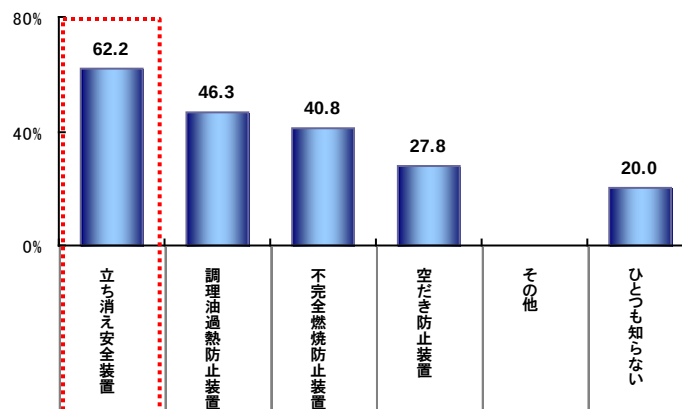
次に、安全装置についてお伺いします。

【全員にお伺いします】

Q14 ガス機器に設置されている安全装置について、あなたをご存知のものを全てお答えください。(いくつでも)

1. 立ち消え安全装置(炎が点火しなかったり、消えた場合に自動的にガスを止める)
2. 不完全燃焼防止装置(機器が不完全燃焼を起こした場合に自動的にガスを止める)
3. 調理油過熱防止装置(天ぷら油などの調理油の温度が高温(250℃)に達すると自動的にガスを止める)
4. 空だき防止装置(浴槽に水を入れ忘れたり、途中で水が抜けてしまった場合に自動的にガスを止める)
5. その他 ()
6. ひとつも知らない

【結果】

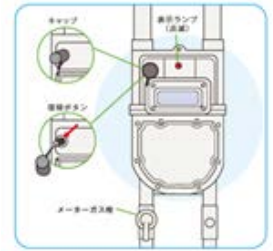


今回調査(平成26年度)	N=1000	62.2	46.3	40.8	27.8	-	20.0
平成25年度	N=1000	64.8	46.3	41.5	32.8	0.2	17.7
平成24年度	N=1000	61.4	51.4	35.7	23.6	0.1	18.8
平成23年度	N=1000	62.3	52.1	36.4	26.1	0.3	18.2
平成22年度	N=1400	63.6	58.0	39.4	30.3	0.2	17.9

ガスメーターの機能の中で一番知られているのは「地震時に自動的にガスを止める」だが、次に続くのが「ひとつも知らない」となっている。

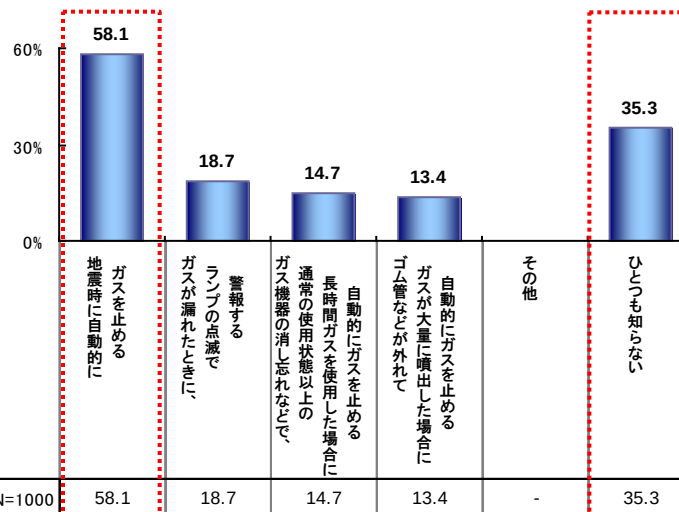
Q15 あなたのお宅に設置されている「ガスメーター」(＝マイコンメーター)の機能について、あなたがご存知のものを全てお答えください。(いくつでも)

1. 地震時に自動的にガスを止める
2. ゴム管などが外れてガスが大量に噴出した場合に自動的にガスを止める
3. ガスが漏れたときに、ランプの点滅で警報する
4. ガス機器の消し忘れなどで、通常の使用状態以上の長時間ガスを使用した場合に自動的にガスを止める
5. その他 ()
6. ひとつも知らない



ガスメーター

【結果】



今回調査(平成26年度)	N=1000	58.1	18.7	14.7	13.4	-	35.3
平成25年度	N=1000	55.5	22.9	17.6	16.0	-	35.0
平成24年度	N=1000	51.1	24.0	18.4	15.0	0.1	34.1
平成23年度	N=1000	57.5	23.8	21.2	15.5	-	30.4
平成22年度	N=1400	49.9	21.8	16.5	15.6	0.1	39.1

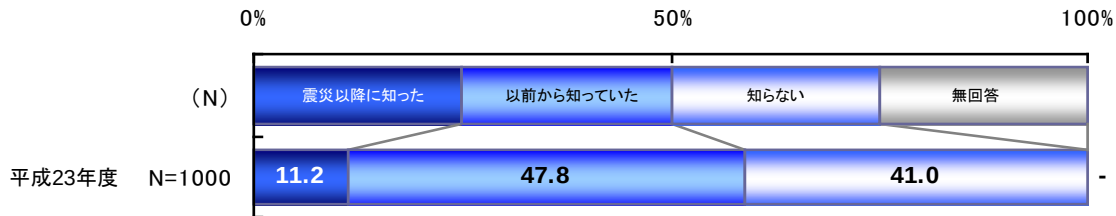
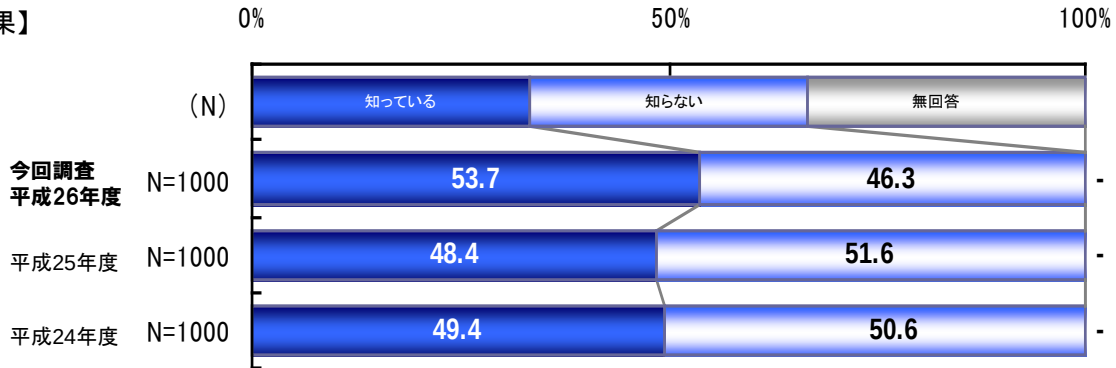
地震時などにおける安全装置の復帰操作について、「知っている」が半数を超えた。

Q16-1 地震時等の非常時に「ガスメーター」(＝マイコンメーター)の安全装置が作動してガスが止まった場合、あなたがガスメーターの復帰ボタンを操作して、ガス設備が安全な状態であれば、ガスが再度使えるようになることをご存知ですか。(1つだけ)

1. 知っている ※ ⇒Q16-2へお進みください
2. 知らない

※平成24年度以前と、選択肢の文言・順序を一部修正して聴取

【結果】



※平成22年度以前は非聴取

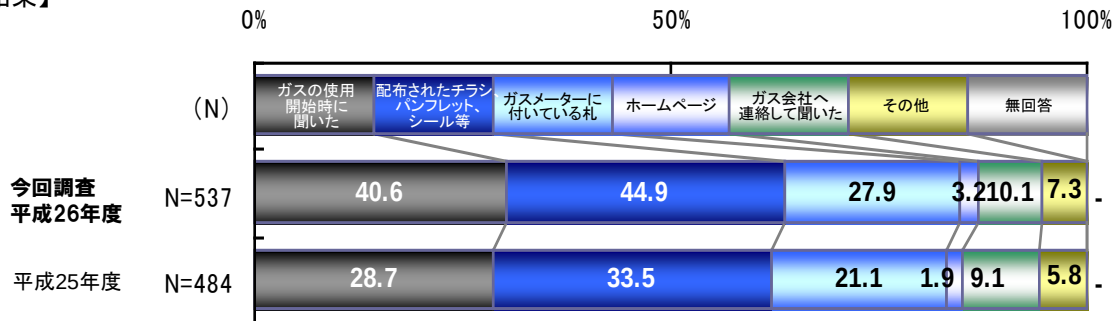
安全装置の復帰操作についての情報源は、「配布されたチラシ、パンフレット、シール等」がトップ。

【Q16-1で「知っている」とお答えの方にお伺いします】

Q16-2 あなたは、ガスメーターの復帰操作に関する内容はどのように知りましたか。(1つだけ)

- | | |
|--|-----------------|
| 1. ガスの使用開始時(開栓時)に聞いた | 4. ホームページ |
| 2. ガスの使用開始時(開栓時)や定期保安点検の際などに
配布されたチラシ、パンフレット、シール等 | 5. ガス会社へ連絡して聞いた |
| 3. ガスメーターに付いている札 | 6. その他() |

【結果】



参考:過去 同様設問調査結果

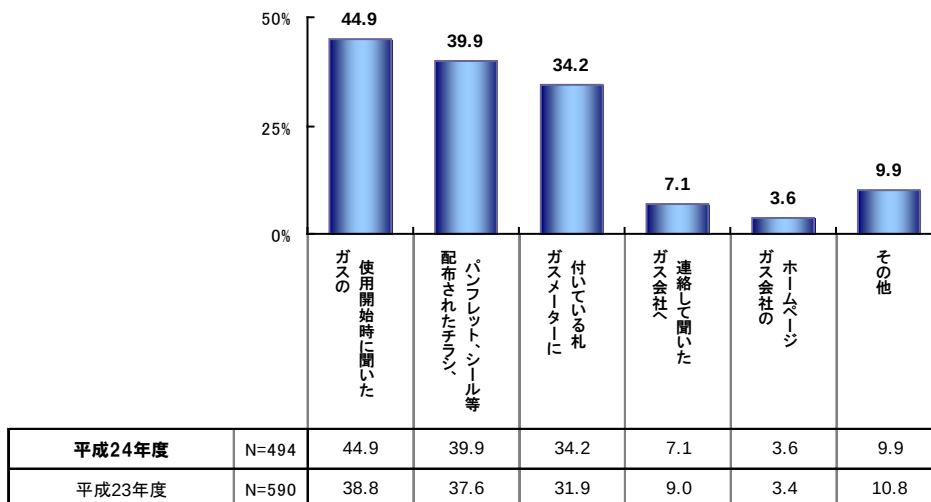
【「知っている」とお答えの方にお伺いします】※

ガスメーターの復帰操作に関する内容はどのように知りましたか。(いくつでも)

- | | |
|-------------------------|-----------------|
| 1. ガスの使用開始時に聞いた | 4. ガス会社のホームページ |
| 2. 配布されたチラシ、パンフレット、シール等 | 5. ガス会社へ連絡して聞いた |
| 3. ガスメーターに付いている札 | 6. その他() |

※平成23年度は、「今年3月の震災以降に知った」「以前から知っていた」とお答えの方にお伺いしますとして聴取

【結果】



※平成22年度以前は非聴取

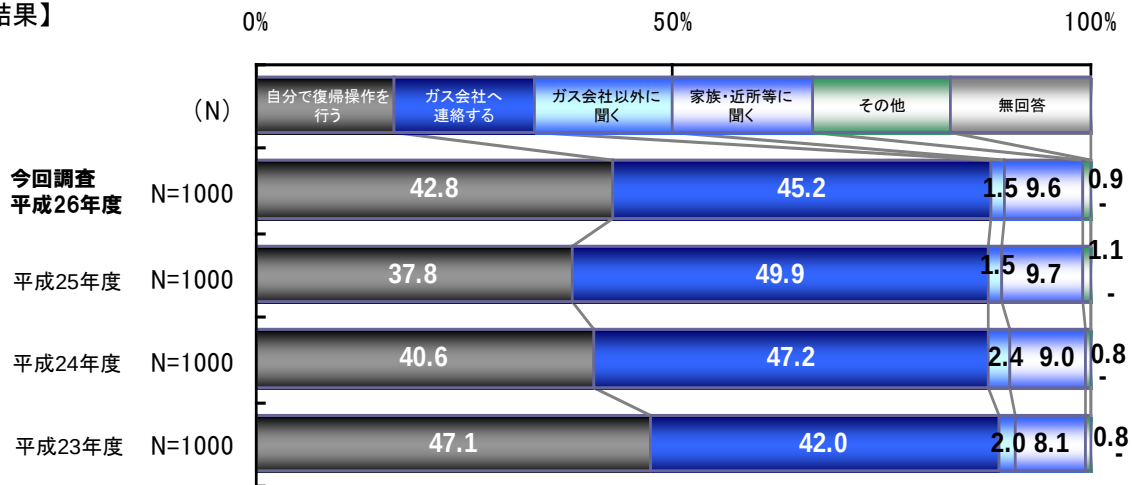
安全装置が作動してガスが止まった場合、まず取る行動は「ガス会社へ連絡する」45.2%。
次いで「自分でガスメーターの復帰操作を行う」42.8%。

【全員にお伺いします】

Q17 ガスメーターの安全装置が作動してガスが止まった場合、ガスを再度使えるようにするため、あなたはどのような行動をとると思いますか。(1つだけ)

1. 自分でガスメーターの復帰操作を行う
2. ガス会社へ連絡する
3. ガス会社以外(ガス機器販売業者等)に聞く
4. 家族・近所等に聞く
5. その他 ()

【結果】



※平成22年度以前は非聴取

都市ガス警報器の設置状況は6割台でほぼ横ばい。

Q18-1 あなたはお宅に都市ガス警報器を設置していますか。(1つだけ)

1. 設置している ⇒Q18-2へお進みください
2. 設置していない ⇒Q18-3へお進みください
3. 警報器は設置しているが、
都市ガス警報器なのかわからない ※ ⇒Q19へお進みください

※平成24年度と、選択肢一部変更

住宅用火災・ガス・CO警報器

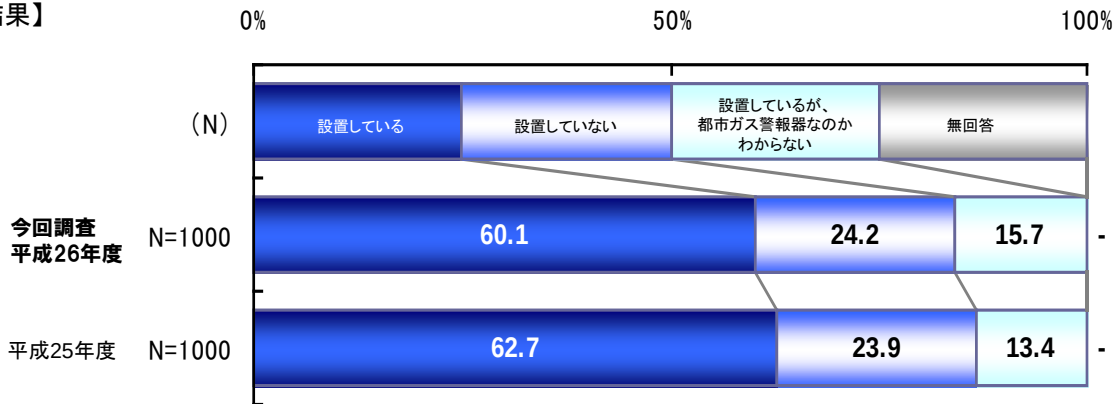


壁掛け式



天井設置式

【結果】

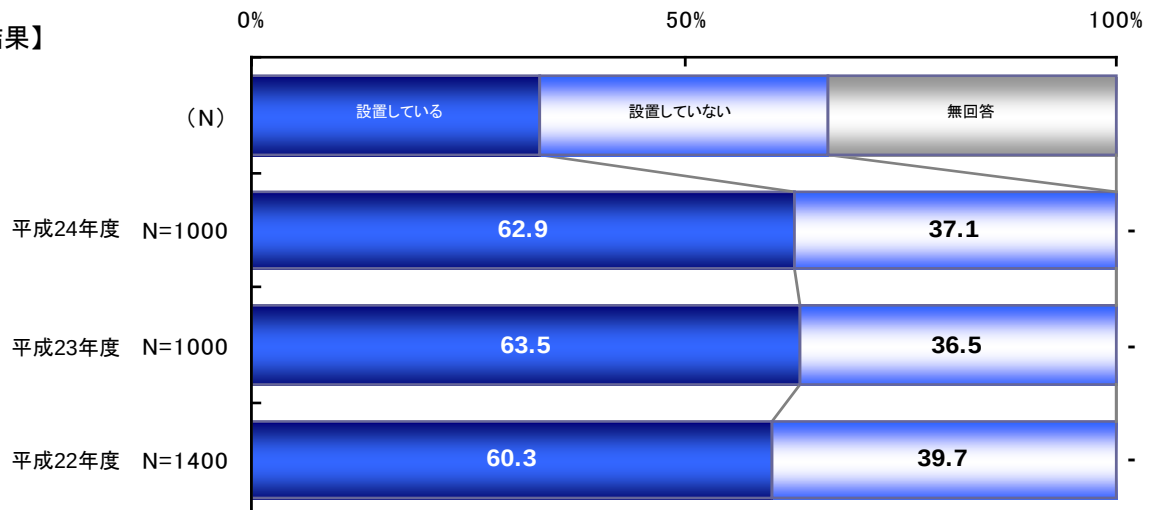


参考:過去 同様設問調査結果

あなたはお宅に都市ガス警報器を設置していますか。(1つだけ)

1. 設置している
2. 設置していない

【結果】



都市ガス警報器の設置理由は、「ガス漏れなどが起きたときに安心できるため」がトップであり、増加傾向。

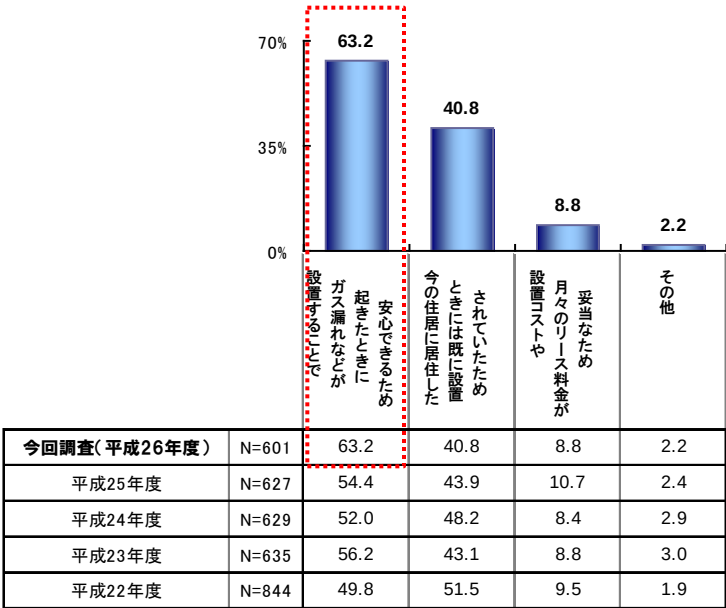
【引き続き、Q18－1で「設置している」とお答えの方にお伺いします】

Q18－2 あなたの自宅に都市ガス警報器を設置している理由を、次の中からお答えください。(いくつでも)

1. 設置することでガス漏れなどが起きたときに安心できるため
2. 設置コストや月々のリース料金が妥当なため ※
3. 今の住居に居住したときには既に設置されていたため
4. その他 ()

※平成24年度と、質問文、選択肢一部変更

【結果】



都市ガス警報器を設置していない理由は、「都市ガス警報器を知らないため」がトップ。
次いで「設置コストや月々のリース料金が高いため」。

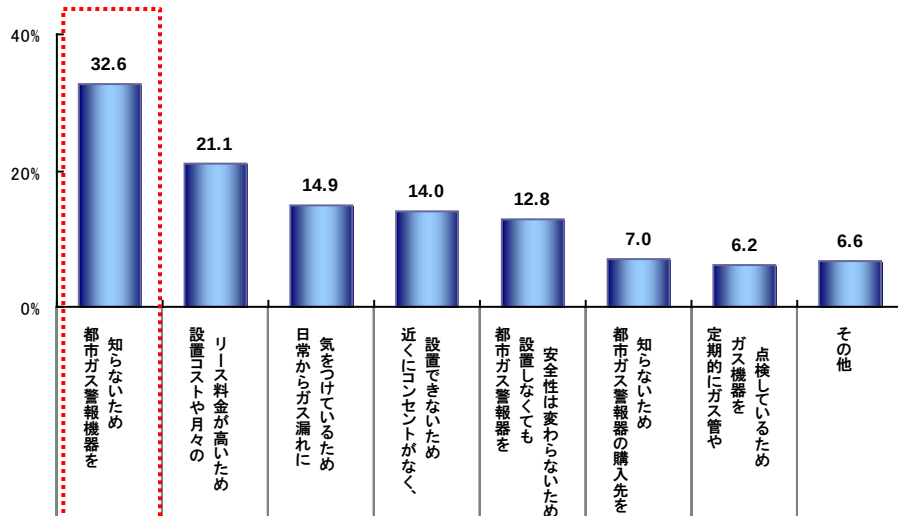
【Q18-1で「設置していない」とお答えの方にお伺いします】

Q18-3 あなたのお宅に都市ガス警報器を設置していない理由を、次の中からお答えください。(いくつでも)

1. 都市ガス警報機器を知らないため ※
2. 日常からガス漏れに気をつけているため
3. 定期的にガス管やガス機器を点検しているため
4. 設置コストや月々のリース料金が高いため ※
5. 都市ガス警報器を設置しなくても安全性は変わらないため
6. 都市ガス警報器の購入先を知らないため
7. 近くにコンセントがなく、設置できないため
8. その他 ()

※平成24年度と、質問文、選択肢一部変更

【結果】



今回調査(平成26年度)	N=242	32.6	21.1	14.9	14.0	12.8	7.0	6.2	6.6
平成25年度	N=239	34.7	19.2	21.8	5.9	10.9	11.3	4.6	12.1
平成24年度	N=371	30.7	18.1	17.8	5.4	7.8	※	8.9	7.0
平成23年度	N=365	29.6	15.3	19.7	4.7	8.8	※	5.8	5.2
平成22年度	N=556	32.6	18.0	18.3	3.2	8.6	※	5.9	7.6

※は非聴取

ガス機器に都市ガス用・LPガス用があることの認知は約8割弱でほぼ横ばい。
ガス機器の取替え検討は、「壊れたとき」次いで「古くなったとき」。安全性や新機能での買い替えはほとんど検討されていない。

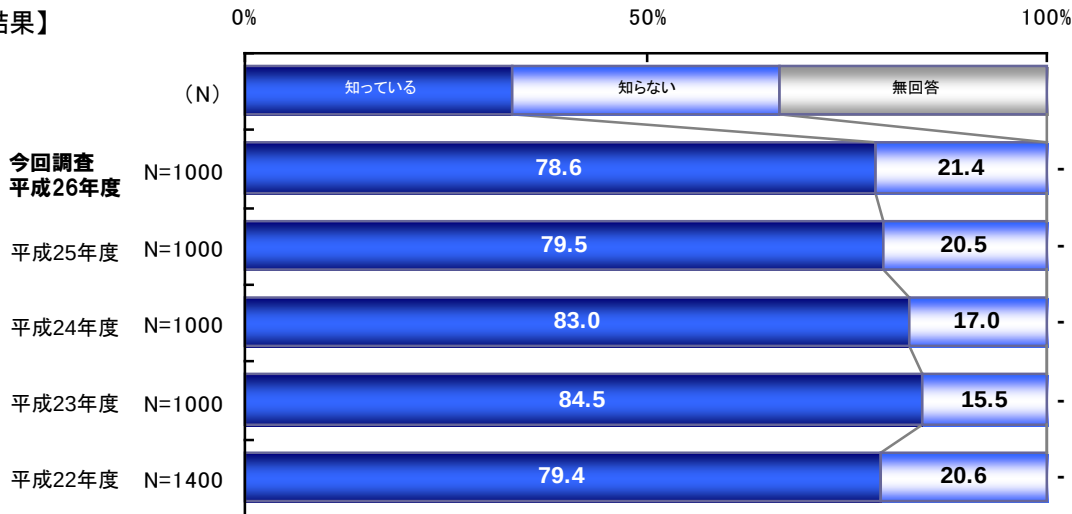
次に、ガス機器の取り替え・購入状況などについてお伺いします。

【全員にお伺いします】

Q19 あなたは、ガス機器には都市ガス用とLPガス用があることをご存知ですか。(1つだけ)

1. 知っている
2. 知らない

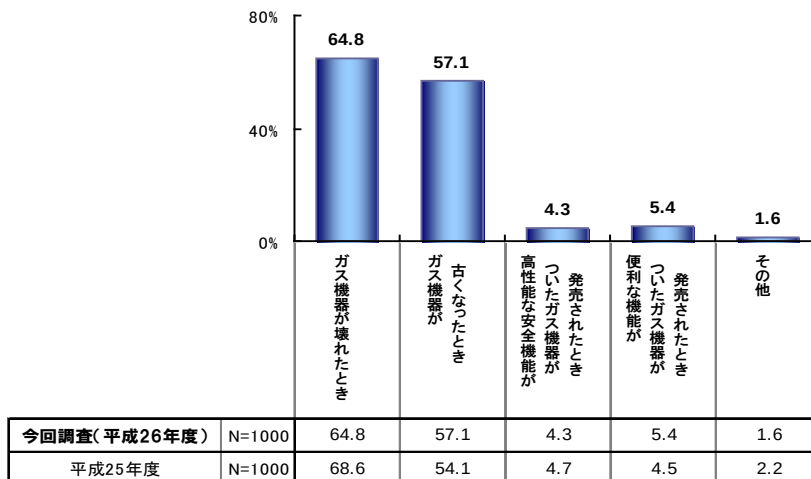
【結果】



Q20 あなたは、どのようなときにガス機器の取替えを検討しますか。(〇はいくつでも)

1. ガス機器が古くなったとき
2. ガス機器が壊れたとき
3. 高性能な安全機能がついたガス機器が発売されたとき
4. 便利な機能がついたガス機器が発売されたとき
5. その他 ()

【結果】



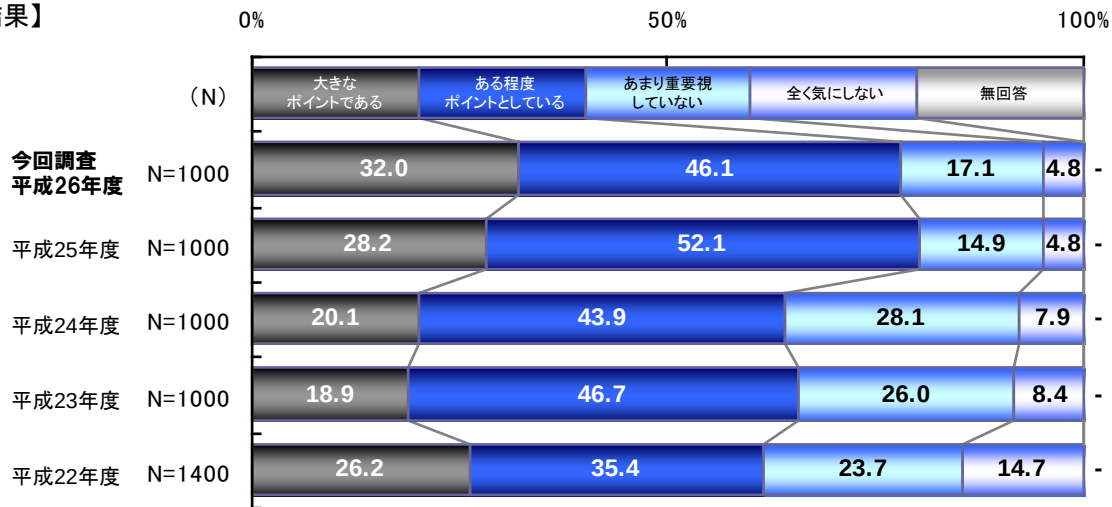
※平成24年度以前は非聴取

ガス機器購入の際、付属の安全装置が購入ポイントになると考えているのは全体の約8割弱。
(大きなポイントである+ある程度ポイントとしている計)

Q21 あなたはガス機器を購入される際、ガス機器に付属している安全装置についてどの程度重視されていますか。(1つだけ)

1. 大きなポイントである
2. ある程度ポイントとしている
3. あまり重要視していない
4. 全く気にしない

【結果】



ガス会社によるガス管やガス機器の調査頻度は、「現在と同じ頻度でよい」と回答する人が増加し、「現在より短い頻度で行うべき」と回答する人が減少している。

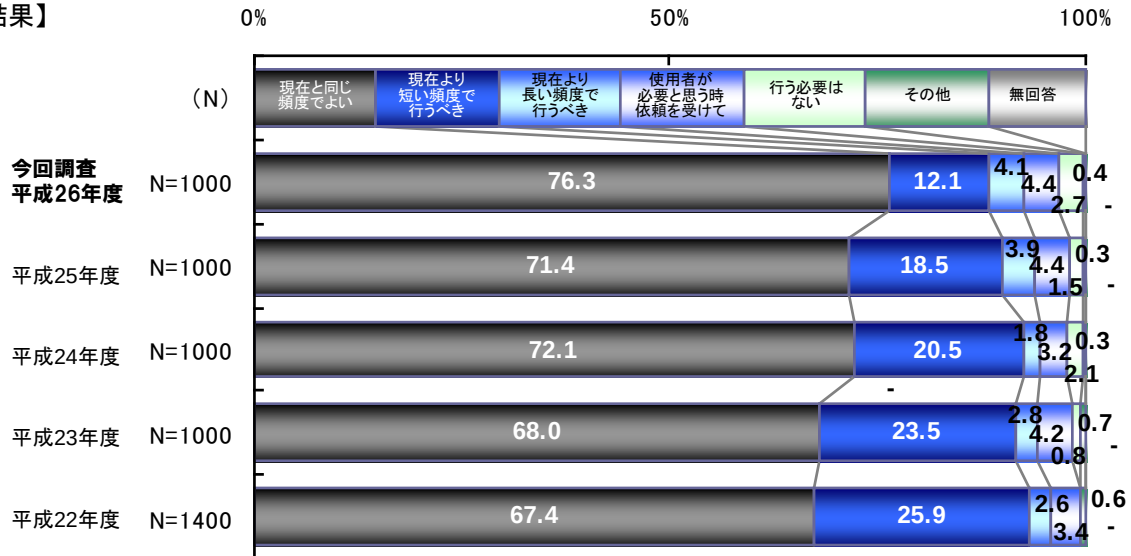
次に、お宅の敷地内のガス管などのガス設備や各種ガス機器についてお伺いします。

Q22 ガス管の検査やガス機器に対する調査は、現在はガス会社が約3年に1回の頻度で行っています。この頻度についてあなたはどのように思われますか。(1つだけ)

1. 現在と同じ頻度でよい
2. 現在より短い頻度(例:1年に1回)で行うべき
3. 現在より長い頻度(例:5年に1回)で行うべき
4. 使用者が必要と思うときに、使用者の依頼を受けて行えばよい ※
5. 行う必要はない
6. その他 ()

※平成22年度以前は「使用者が内管検査やガス機器に対する調査が必要と思うときに～」として聴取

【結果】



8割強の人がガス管やガス機器の定期的な点検が必要と考えている。

【全員にお伺いします】

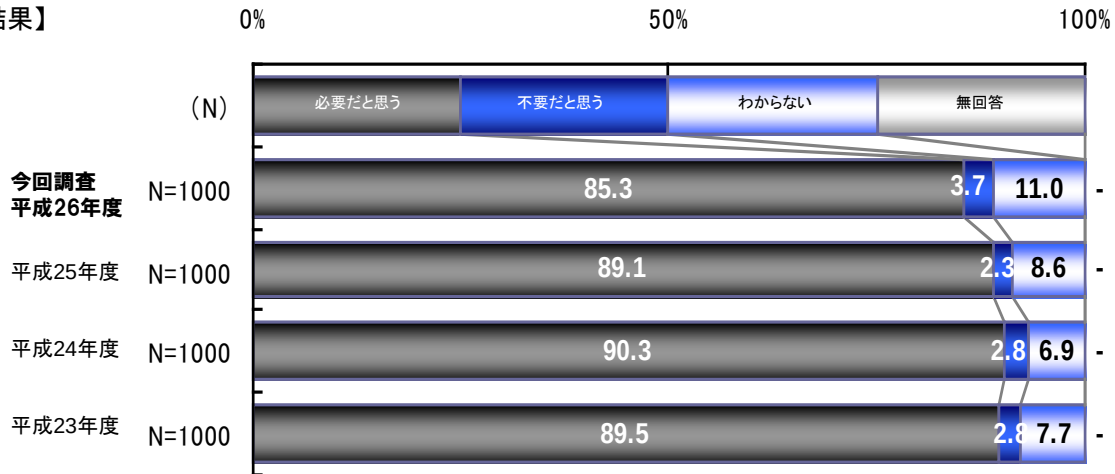
Q23-1 あなたは、ガス管やガス機器の定期的な点検が必要だと思いますか。(1つだけ)

1. 必要だと思う
2. 不要だと思う
3. わからない

⇒Q23-2へお進みください

⇒Q23-3へお進みください

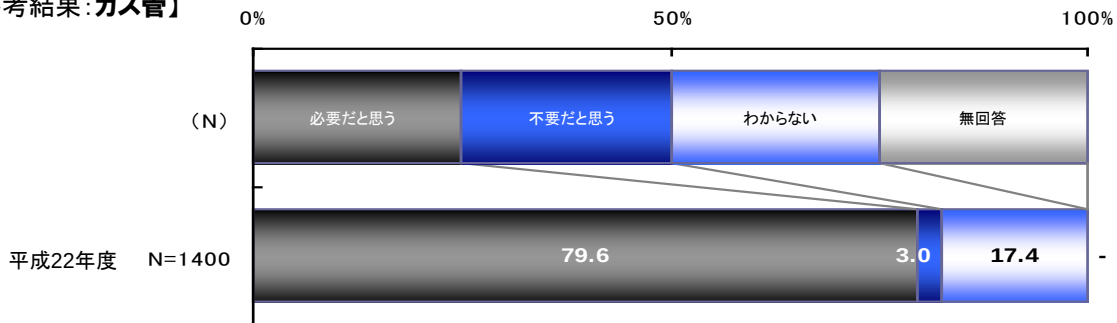
【結果】



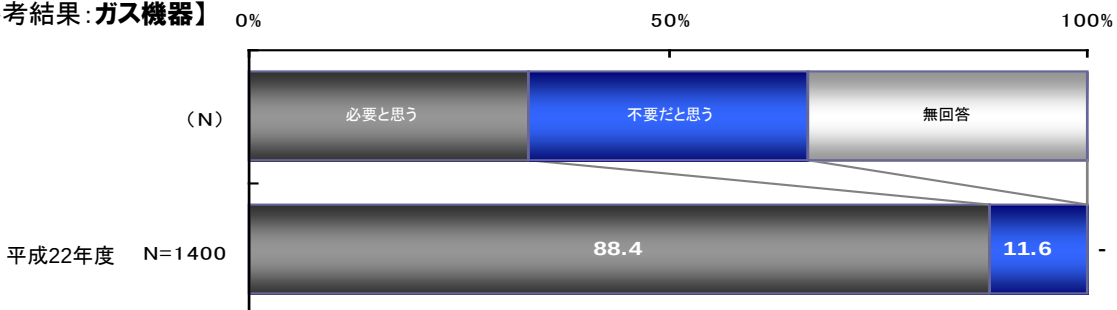
※平成22年度以前は「ガス管」と「ガス機器」を分けて聴取

参考: 過去 同様設問調査結果

【参考結果: ガス管】



【参考結果: ガス機器】



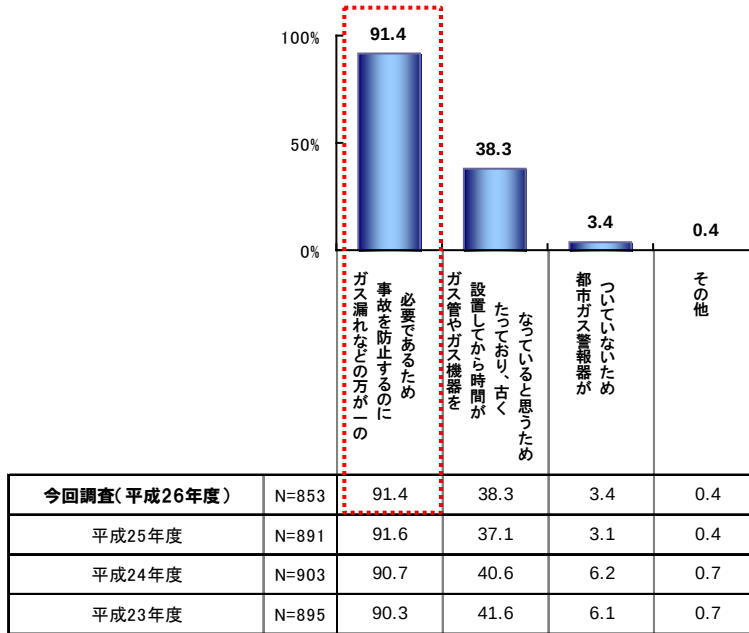
ガス管やガス機器の定期的な点検が必要な理由としては、「万が一の事故を防止するのに必要であるため」次いで「ガス管やガス機器を設置してから時間がたっており、古くなっていると思うため」。

【Q23-1で「必要だと思う」とお答えの方にお伺いします】

Q23-2 あなたが、「ガス管やガス機器の定期的な点検が必要」と思われる理由をお答えください。(いくつでも)

1. ガス漏れなど万が一の事故を防止するのに必要であるため
2. ガス管やガス機器を設置してから時間がたっており、古くなっていると思うため
3. 都市ガス警報器がついていないため
4. その他 ()

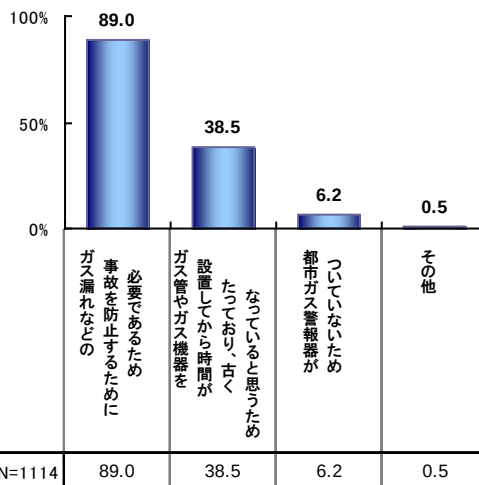
【結果】



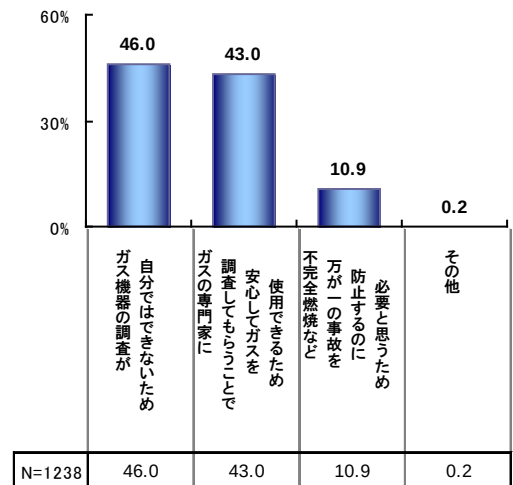
※平成22年度以前は「ガス管」と「ガス機器」を分けて聴取

参考: 過去 同様設問調査結果

【参考結果: ガス管】



【参考結果: ガス機器】



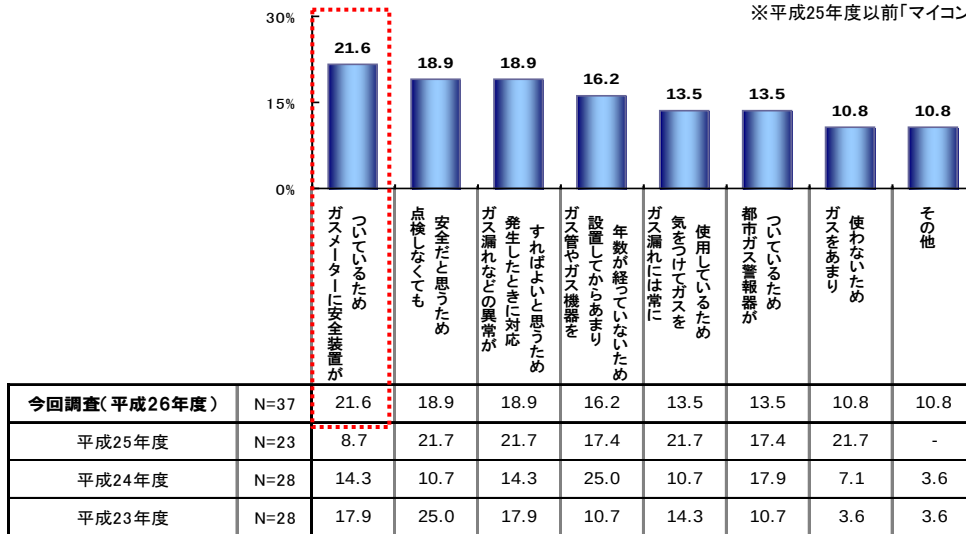
ガス管やガス機器の定期的な点検は不要と思う理由としては、「ガスメーターに安全装置がついているため」次いで「点検しなくても安全だと思うため」。

【Q23-2で「不要だと思う」とお答えの方にお伺いします】

Q23-3 あなたが、「ガス管やガス機器の定期的な点検が不要」と思われる理由をお答えください。(いくつでも)

1. ガス管やガス機器を設置してからあまり年数が経っていないため
2. ガスをあまり使わないため
3. 点検しなくても安全だと思うため
4. 都市ガス警報器がついているため
5. ガスメーターに安全装置がついているため※
6. ガス漏れには常に気をつけてガスを使用しているため
7. ガス漏れなどの異常が発生したときに対応すればよいと思うため
8. その他 ()

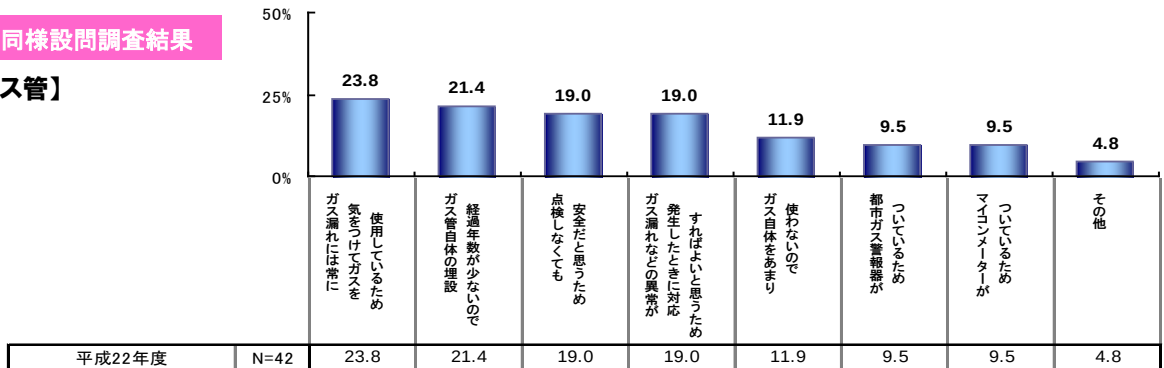
【結果】



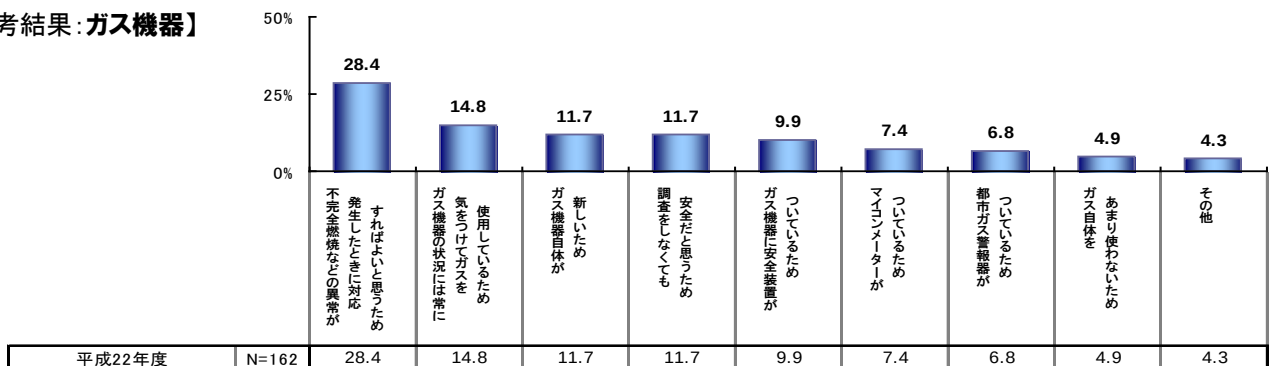
※平成22年度以前は「ガス管」と「ガス機器」を分けて聴取

参考:過去 同様設問調査結果

【参考結果:ガス管】



【参考結果:ガス機器】



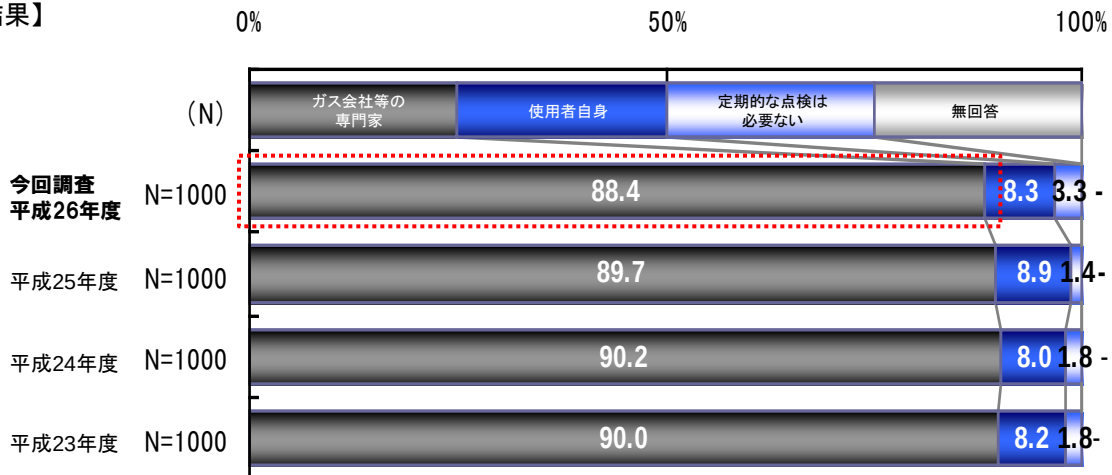
約9割弱が、ガス管やガス機器の定期的な点検は「ガス会社等の専門家」が実施すべきだと思っている。

【全員にお伺いします】

Q24-1 あなたは、ガス管やガス機器の定期的な点検は誰が実施すべきだと思いますか。
次の中からあてはまるものを1つだけお答えください。(1つだけ)

- | | |
|----------------|----------------|
| 1. ガス会社等の専門家 | ⇒Q24-2へお進みください |
| 2. 使用者(あなた)自身 | ⇒Q24-3へお進みください |
| 3. 定期的な点検は必要ない | |

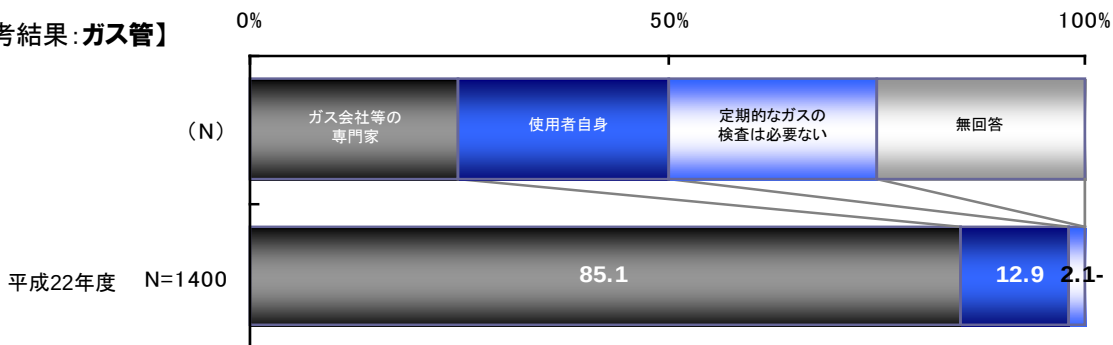
【結果】



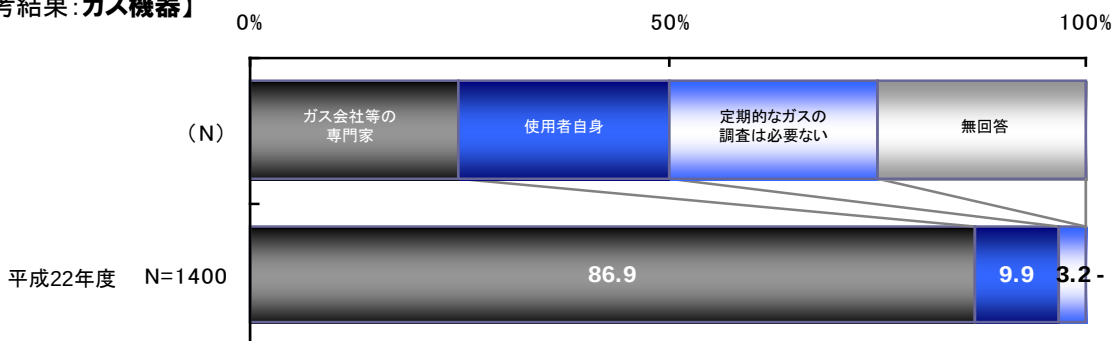
参考:過去 同様設問調査結果

※平成22年度以前は「ガス管」と「ガス機器」を分けて聴取

【参考結果:ガス管】



【参考結果:ガス機器】



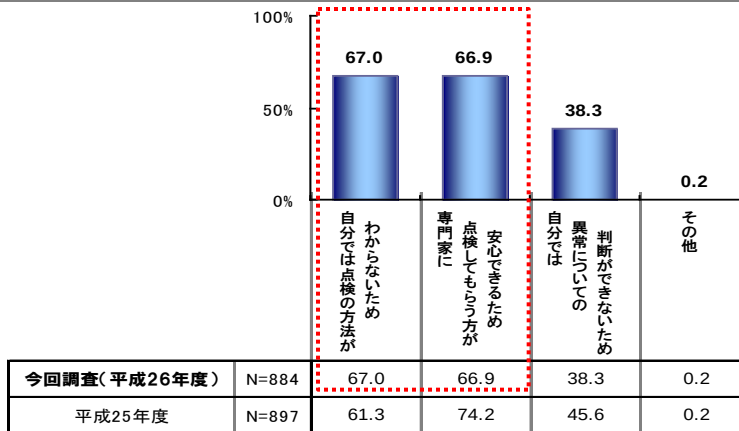
ガス管やガス機器の定期的な点検は「ガス会社等の専門家」が実施すべきだと思っている理由は、「自分では点検の方法がわからないため」と「専門家に点検してもらう方が安心できるため」がほぼ同スコア。

【Q24-1で「ガス会社等の専門家」とお答えの方にお伺いします】

Q24-2 あなたは、ガス管やガス機器の定期的な点検を、なぜ「専門家」が行う必要があると思いますか。
あてはまると思うものを全てお答えください。(いくつでも)

- 自分では点検の方法がわからないため
- 専門家に点検してもらう方が安心できるため
- 自分では異常についての判断ができないため
- その他 ()

【結果】



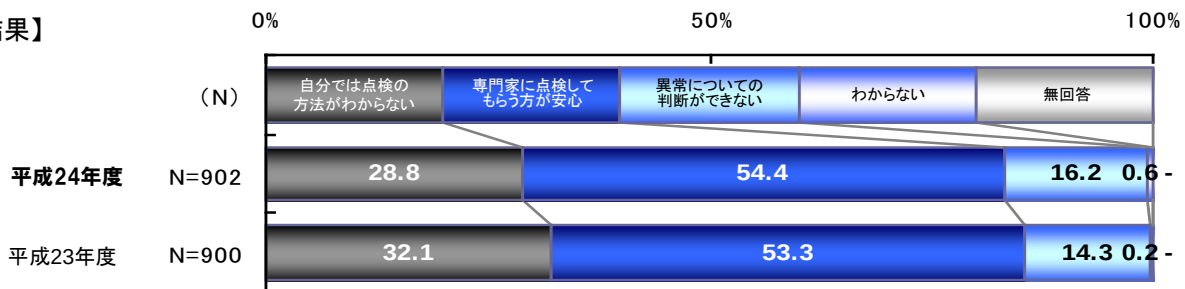
参考:過去 同様設問調査結果

【「ガス会社等の専門家」とお答えの方にお伺いします】

あなたはガス管やガス機器の定期的な点検をなぜ「専門家」が行う必要があると思いますか。
あてはまると思うものを1つだけお答えください。(1つだけ)

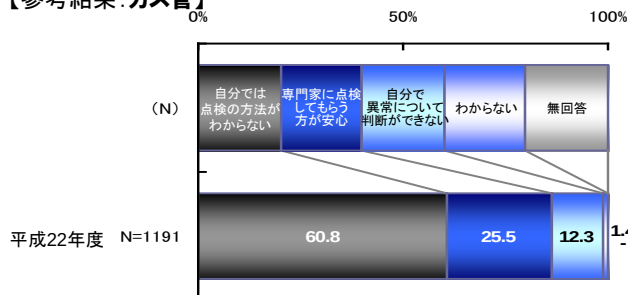
- 自分では点検の方法がわからないため
- 専門家に点検してもらう方が安心できるため
- 異常についての判断ができないため
- わからない

【結果】

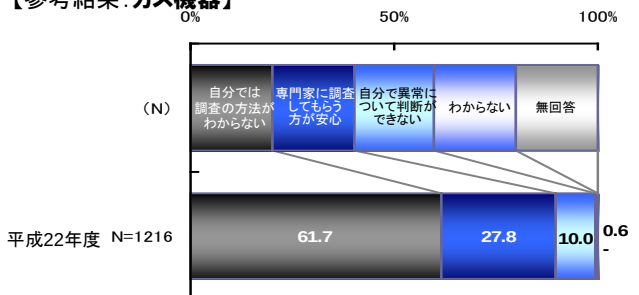


※平成22年度以前は「ガス管」と「ガス機器」を分けて聴取

【参考結果:ガス管】



【参考結果:ガス機器】



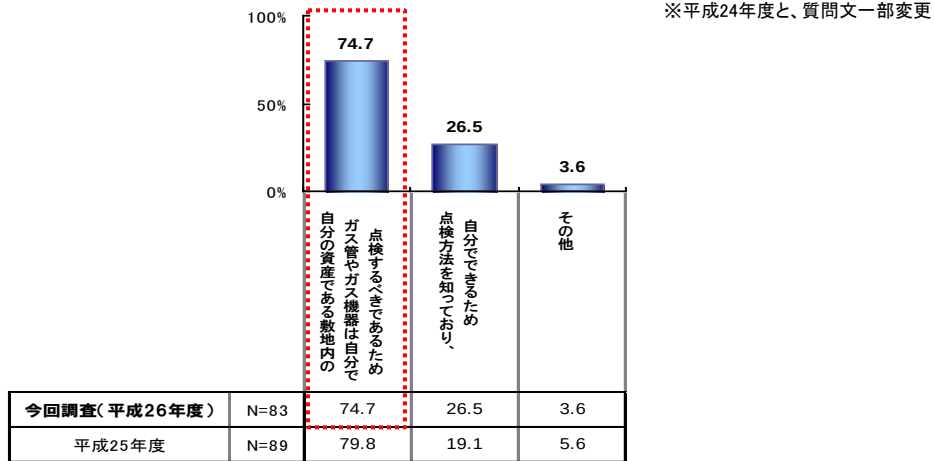
「使用者(あなた)自身」がガス管やガス機器の定期的な点検を実施すべきだと回答している理由は、「自分の資産である敷地内のガス管やガス機器は自分で点検するべきであるため」が約7割。

【Q24-1で「使用者(あなた)自身」とお答えの方にお伺いします】

Q24-3 使用者(あなた)自身が点検を実施すべきであるとする理由はなぜですか。
あてはまると思うものを全てお答えください。(いくつでも)

1. 自分の資産である敷地内のガス管やガス機器は自分で点検するべきであるため
2. 点検方法を知っており、自分でできるため
3. その他 ()

【結果】



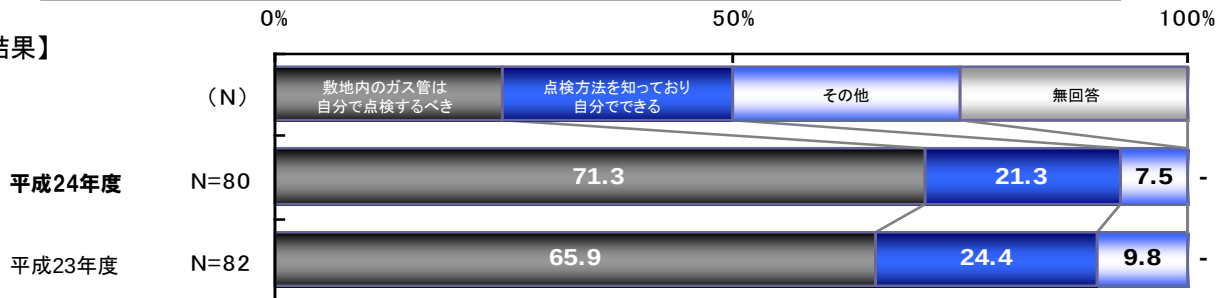
参考: 過去 同様設問調査結果

【「使用者(あなた)自身」とお答えの方にお伺いします】

使用者(あなた)自身が点検を実施すべきであるとする理由はなぜですか。あてはまると思うものを1つだけお答えください。(1つだけ)

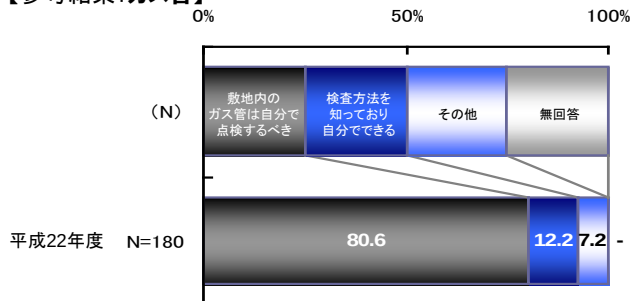
1. 自分の資産である敷地内のガス管やガス機器は自分で点検するべきであるため
2. 点検方法を知っており、自分でできるため
3. その他 ()

【結果】

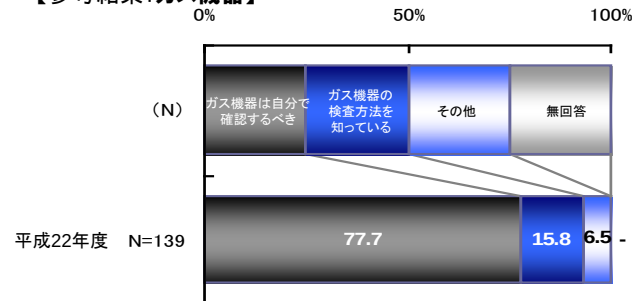


※平成22年度以前は「ガス管」と「ガス機器」を分けて聴取

【参考結果: ガス管】



【参考結果: ガス機器】



都市ガスで関心のあること・知りたいことのトップは「火災・地震が起こった時の対応」次いで「ガス漏れに気づいた時の対応方法」。普段から行える手入れなどの知識よりも、非常時の対応方法に関心が高い様子。

次に、都市ガスに対する意識についてお伺いします。

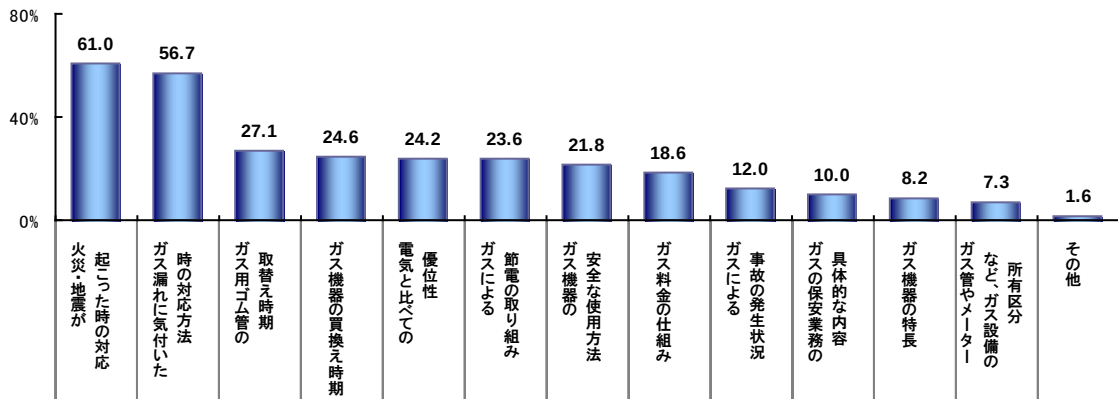
【全員にお伺いします】

Q25 「都市ガス」に対して、あなたが関心のあること・知りたいことは何ですか。 ※
次の中からあてはまるものをすべてお答えください。(いくつでも)

- | | |
|--------------------|--------------------------|
| 1. 火災・地震が起こった時の対応 | 8. ガス用ゴム管の取替え時期 |
| 2. ガス漏れに気付いた時の対応方法 | 9. ガスによる事故の発生状況 |
| 3. ガスによる節電の取り組み | 10. ガスの保安業務の具体的な内容 |
| 4. 電気と比べての優位性 | 11. ガス管やメーターなど、ガス設備の所有区分 |
| 5. ガス機器の買換え時期 | 12. ガス料金の仕組み |
| 6. ガス機器の特長 | 13. その他 |
| 7. ガス機器の安全な使用方法 | |

※平成23年度は「今年3月震災以前・以降」に分けて聴取

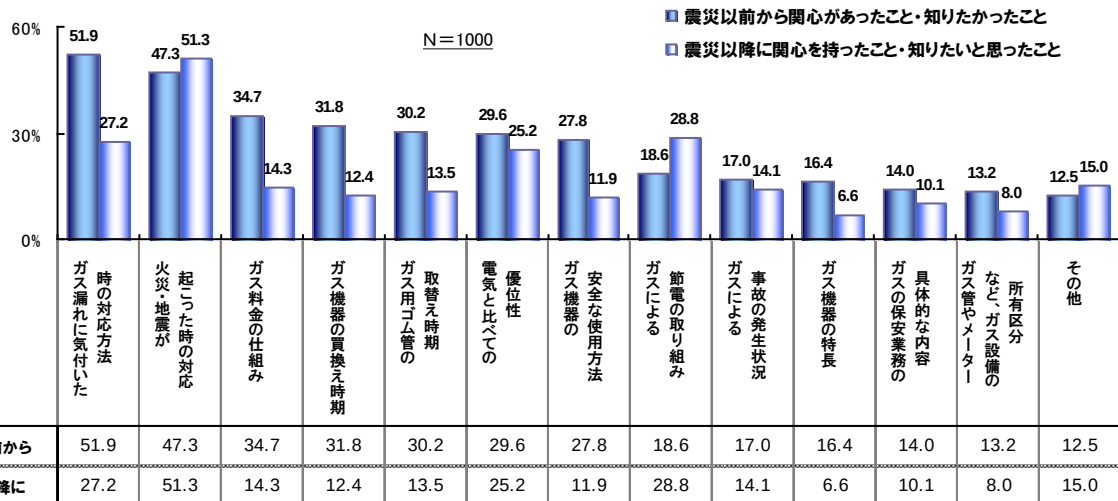
【結果】



今回調査(平成26年度)	N=1000	61.0	56.7	27.1	24.6	24.2	23.6	21.8	18.6	12.0	10.0	8.2	7.3	1.6
平成25年度	N=1000	64.3	59.0	35.5	26.1	22.7	25.1	24.2	24.6	16.0	13.5	6.8	6.6	1.5
平成24年度	N=1000	60.9	61.7	35.4	26.1	23.6	21.4	23.2	18.2	13.5	10.6	7.7	5.2	1.3
平成22年度	N=1400	32.9	48.6	36.1	32.7	※	※	24.1	49.9	11.6	18.1	10.6	10.7	1.9

※は非聴取

【参考結果(平成23年度):関心のあること・知りたいこと(震災以前・以降)】



平成23年度	震災以前から	51.9	47.3	34.7	31.8	30.2	29.6	27.8	18.6	17.0	16.4	14.0	13.2	12.5
	震災以降に	27.2	51.3	14.3	12.4	13.5	25.2	11.9	28.8	14.1	6.6	10.1	8.0	15.0

ガスメーターやガス管の所有区分について知っていることのトップは、「ガスメーターはガス会社の所有物である」次いで「この中に知っていることはひとつもない」。

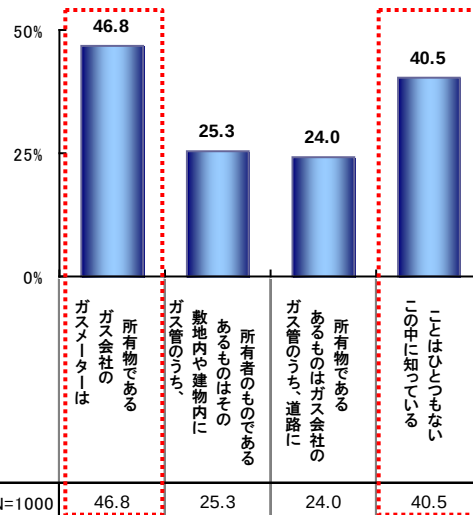
Q26 ガスメーターやガス管の所有区分について、あなたがご存知のことを全てお答えください。(いくつでも)

1. ガスメーターはガス会社の所有物である
2. ガス管のうち、敷地内や建物内にあるものはその所有者のものである ※
3. ガス管のうち、道路にあるものはガス会社の所有物である
4. この中に知っていることはひとつもない

※平成25年度以前は、「ガス管のうち、所有者の敷地内や建物内にあるものは使用者の所有物である」として聴取

※平成22年度以前は、「ガス管のうち、所有者の敷地内や建物内に組み込まれたものは～」として聴取

【結果】



今回調査(平成26年度)	N=1000	46.8	25.3	24.0	40.5
平成25年度	N=1000	43.8	25.8	25.1	43.4
平成24年度	N=1000	42.8	28.4	26.1	42.1
平成23年度	N=1000	46.6	28.7	28.4	39.7
平成22年度	N=1400	44.2	24.6	24.5	42.1

ガス機器の日常管理は、約7割が「所有者(あなた自身)が行うべき」と考えているが、その正しいお手入れ方法について知っているのは約2割に留まっている(大変よく知っている+知っている計)。

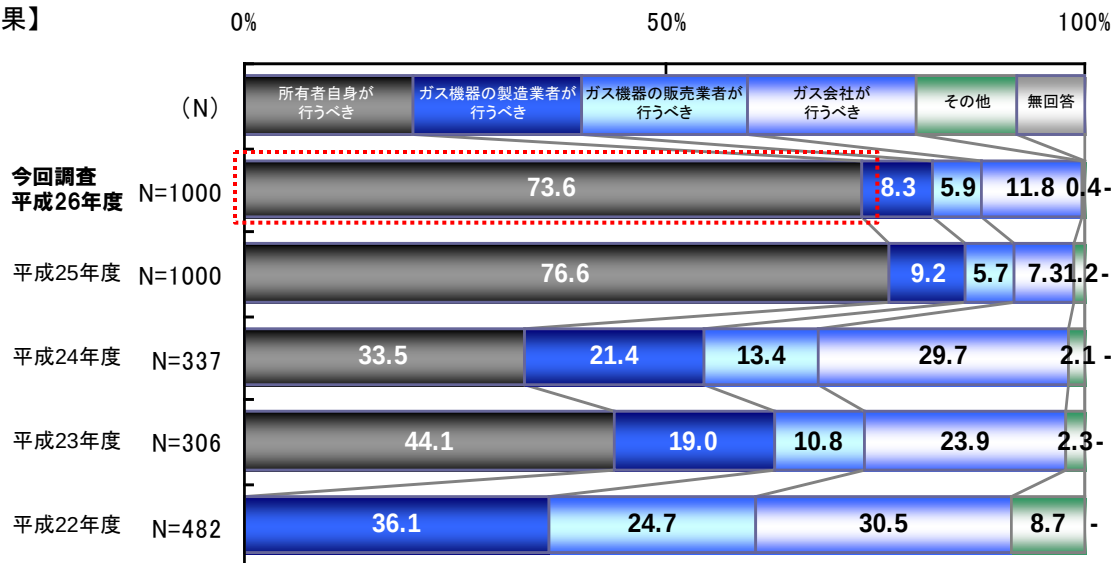
Q27-1 ガス機器(ガスコンロ、ガスファンヒーター、ガス給湯器など)の掃除・お手入れ等の日常管理は、誰が行うべきと思われますか。
次の中から、1つだけお答えください。(1つだけ)

- | | |
|-----------------------|------------------|
| 1. 所有者(あなた自身)が行うべき ※※ | ⇒Q27-2-1へお進みください |
| 2. ガス機器の製造業者が行うべき | ⇒Q27-3へお進みください |
| 3. ガス機器の販売業者が行うべき | ⇒Q27-3へお進みください |
| 4. ガス会社が行うべき | ⇒Q27-3へお進みください |
| 5. その他() | ⇒Q27-3へお進みください |

※平成24年度と、質問文、選択肢一部変更

※平成24年度以前は所有者が手入れすることを知らなかった者ベース

【結果】

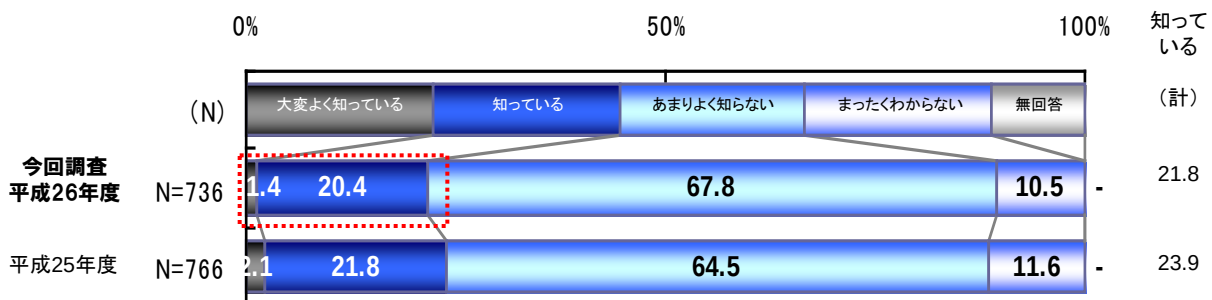


【Q27-1で「所有者(あなた自身)が行うべき」とお答えの方にお伺いします】

Q27-2-1 あなたは、ガス機器(ガスコンロ、ガスファンヒーター、ガス給湯器など)の正しい掃除・お手入れ等の方法をご存知ですか。(〇は1つだけ)

- | | | |
|--------------|--------------|------------------|
| 1. 大変よく知っている | 3. あまりよく知らない | ⇒Q27-2-2へお進みください |
| 2. 知っている | 4. まったくわからない | ⇒Q27-2-2へお進みください |

【結果】



※平成24年度以前は非聴取

ガス機器の正しいお手入れ方法を知らない人は、その方法を「パンフレット・チラシなどの紙」次いで「インターネットのホームページ」で知りたいと回答している。

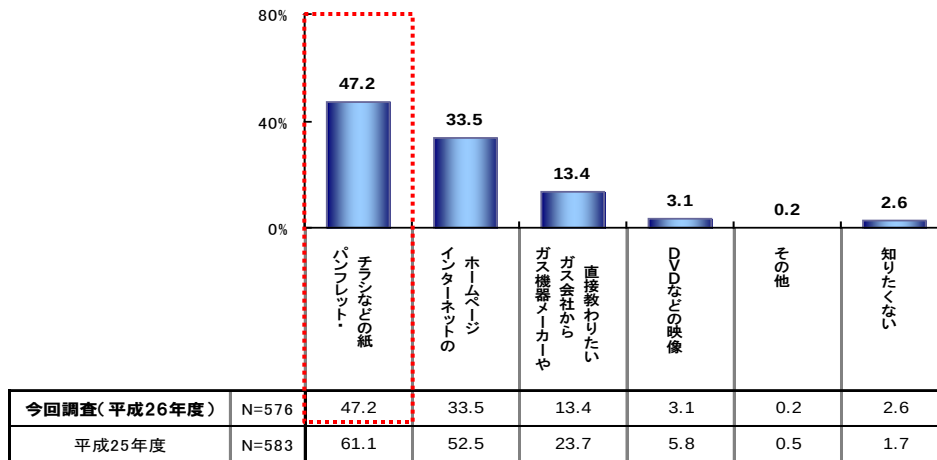
また、ガス機器の日常管理を「ガス会社または製造・販売業者、その他が行うべき」と回答している人は、その理由を「所有者にはわからないことが多いため」次いで「ガスは取扱いが危険なため」としている。

【Q27-2-1で「あまりよく知らない」、「全くわからない」とお答えの方にお伺いします】

Q27-2-2 あなたは、正しい掃除・手入れ等の方法をどのような方法で知りたいですか。(いくつでも)

- | | |
|-------------------|---------------------------|
| 1. パンフレット・チラシなどの紙 | 4. ガス機器メーカーやガス会社から直接教わりたい |
| 2. インターネットのホームページ | 5. その他 () |
| 3. DVDなどの映像 | 6. 知りたくない |

【結果】



※平成24年度以前は非聴取

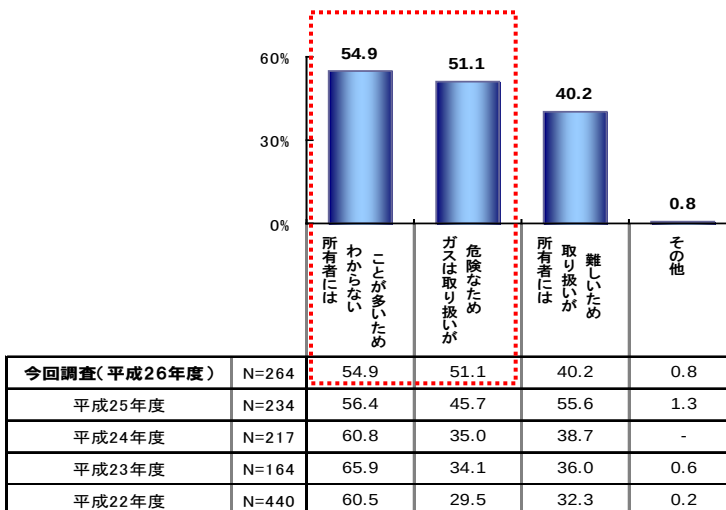
【Q27-1で「ガス会社又はガス機器の製造・販売業者、その他が行うべき」とお答えの方にお伺いします】

Q27-3 あなたが、ガス機器(ガスコンロ、ガスファンヒーター、ガス給湯器など)の掃除・お手入れ等の日常管理は「所有者以外の者が行うべき」と考える理由をお答えください。(いくつでも)

- | | |
|------------------------|-----|
| 1. 所有者にはわからないことが多いため ※ | () |
| 2. 所有者には取扱いが難しいため ※ | |
| 3. ガスは取扱いが危険なため | |
| 4. その他 () | |

※平成24年度と、質問文一部変更

【結果】



平成26年度広報で、一番接触率が高かったものは「チラシ、パンフレット」で、約6割が接触したと回答している。

【全員にお伺いします】

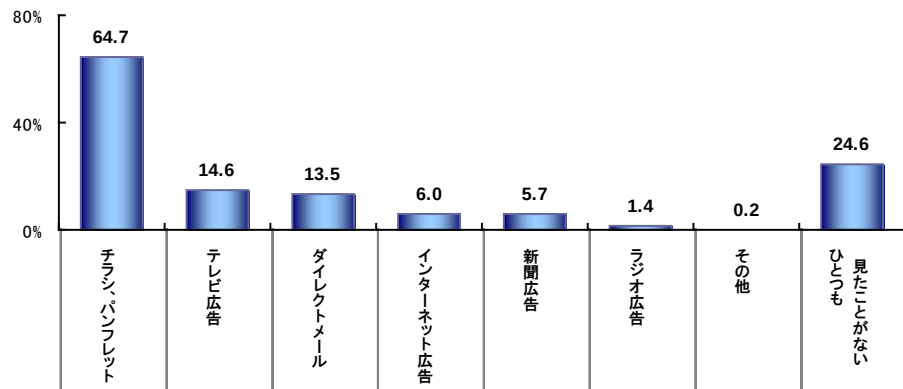
Q28 あなたは、ガス会社が行っている広報（ガスを安全に使用するためのお知らせ）に関して、あなたがご覧になったことがある「広報物」を全てお答えください。（いくつでも）※

- | | |
|-----------------|----------------|
| 1. チラシ、パンフレット ※ | 5. 新聞広告 |
| 2. ダイレクトメール | 6. インターネット広告 |
| 3. テレビ広告 | 7. その他（ ） |
| 4. ラジオ広告 | 8. ひとつも見たことがない |

※平成24年度と、質問文、選択肢一部変更

※平成22年度以前は、「周知チラシ」として聴取

【結果】



今回調査(平成26年度)	N=1000	64.7	14.6	13.5	6.0	5.7	1.4	0.2	24.6
平成25年度	N=1000	63.2	19.0	13.5	5.7	10.7	1.3	0.3	24.3
平成24年度	N=1000	65.0	9.3	10.8	2.6	3.7	0.5	0.3	26.7
平成23年度	N=1000	66.5	12.2	9.9	2.5	4.7	1.0	-	24.8
平成22年度	N=1400	41.1	11.4	9.1	3.1	5.5	0.8	0.7	46.1

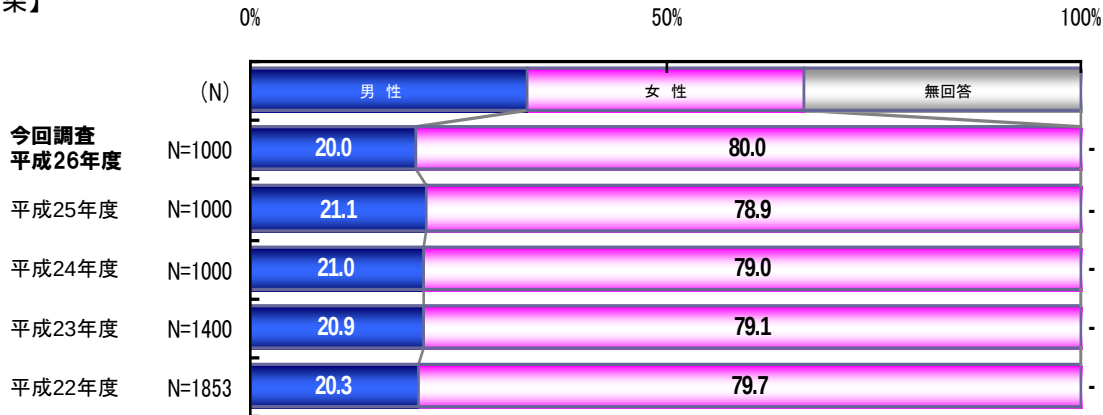
最後に、あなたご自身のことについてお伺いします。

SC1 あなたの性別をお知らせください。(1つだけ)

1. 男性

2. 女性

【結果】

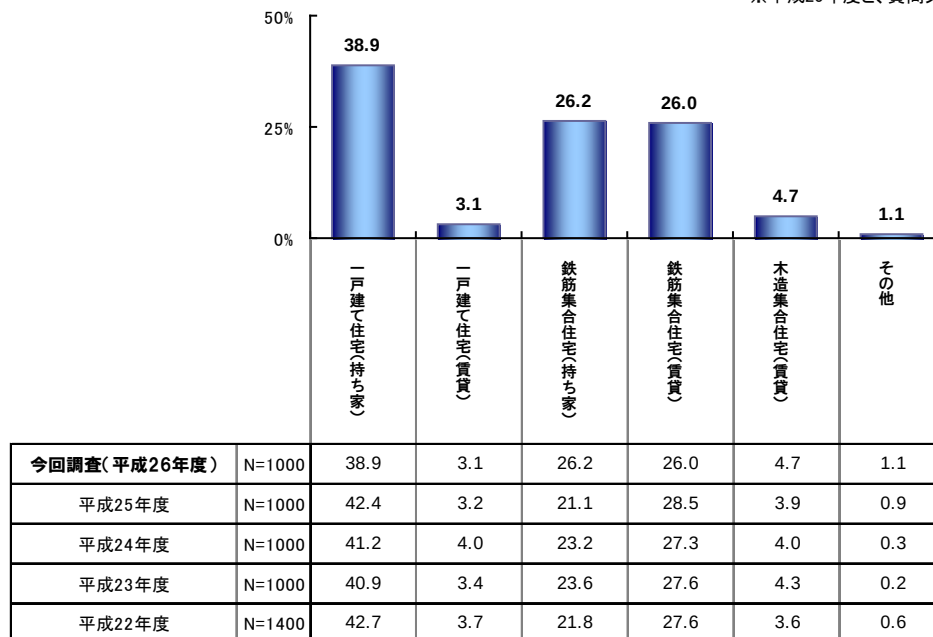


F1 あなたの住居形態をお知らせください。(1つだけ)

- | | |
|----------------|---------------|
| 1. 一戸建て住宅(持ち家) | 4. 鉄筋集合住宅(賃貸) |
| 2. 一戸建て住宅(賃貸) | 5. 木造集合住宅(賃貸) |
| 3. 鉄筋集合住宅(持ち家) | 6. その他 () |

※平成25年度と、質問文一部変更

【結果】

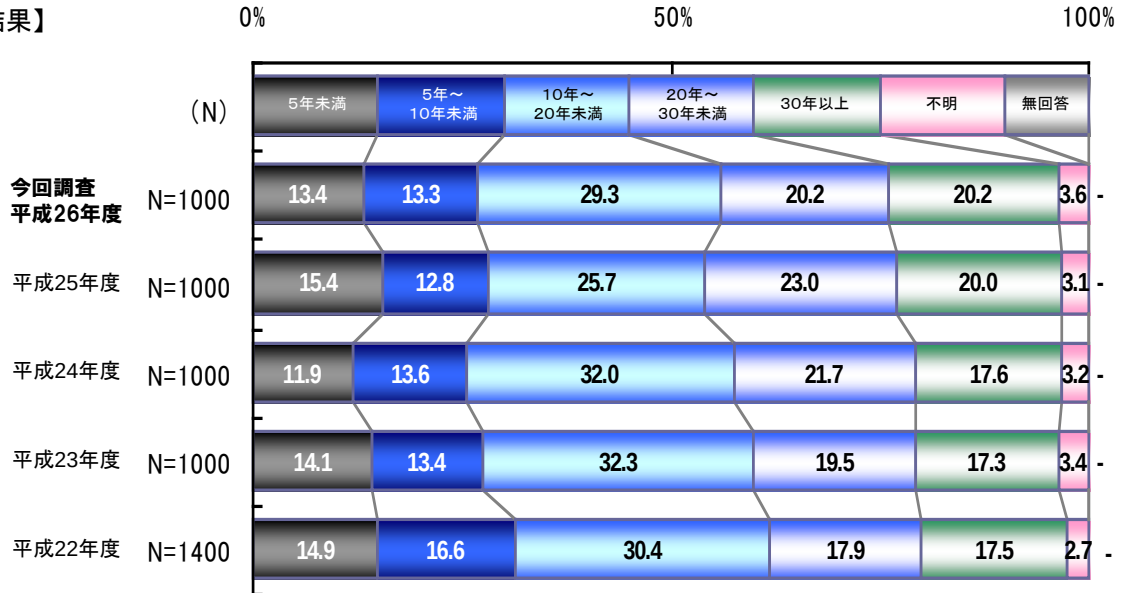


F2 あなたの住居の築年数をお知らせください。(1つだけ)

- | | |
|--------------|--------------|
| 1. 5年未満 | 4. 20年～30年未満 |
| 2. 5年～10年未満 | 5. 30年以上 |
| 3. 10年～20年未満 | 6. 不明 |

※平成25年度と、質問文一部変更

【結果】



総括

一般需要家調査について

- ①換気をしない状態におけるガス機器の使用が、一酸化炭素中毒につながる可能性があることの認知は8割がしており、その特徴である「死に至る」可能性や「無色・無臭」という特徴も認知されている。しかしながらいずれも経年で見ると低下傾向にある。
- ②キッチンでのガス機器使用時の換気は調理などの「におい」を防ぐ目的が主で、不完全燃焼防止に対する意識はあまり働いていない傾向。
- ③接続部の劣化状況確認においては、テーブルコンロよりもカスストーブ、ガスファンヒーターの方が行われている。
- ④ガス機器の掃除・お手入れに関する意識は高いものの、その方法については知識がまだ十分であるとは言えない。掃除・手入れの注意喚起だけでなく、その方法の周知が引き続き必要。
- ⑤ガス漏れなどの緊急時の、ガス会社への連絡先を把握している人は約7割弱。中でも、ガス会社からの配布物（パンフレット、ステッカーなど）を保管している率が高い。

2. 業務用需要家調査

業務用需要家においては、換気をしない状態におけるガス機器の使用が、CO（一酸化炭素）中毒につながる可能性を9割弱が認識してはいるが、ここ3年で見ると減少傾向。
さらにCO中毒の危険性を意識しながら厨房等での業務を行っているのは7割程度に留まる（「常にそのことを意識しながら業務を行っている」+「時々意識することができる」計）

最初に、お店の換気設備の使用状況についてお伺いします。

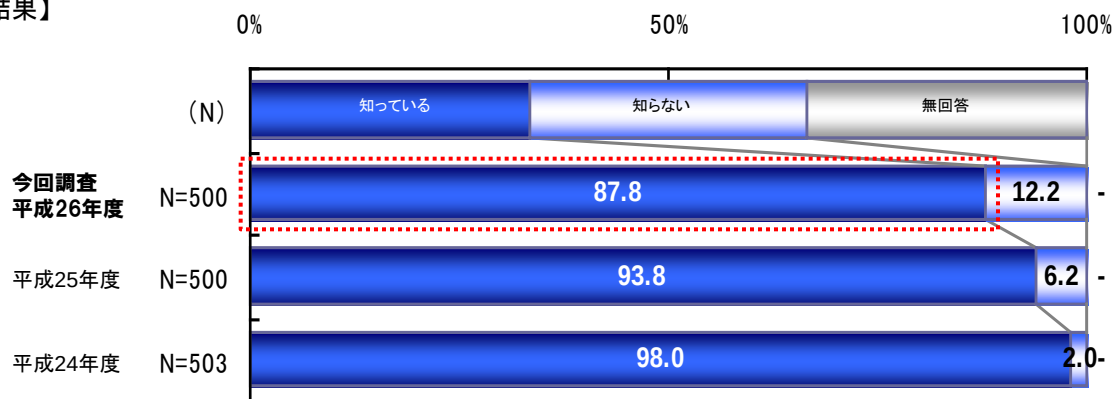
【全員にお伺いします】

Q1 あなたは、換気をしない状態で室内（厨房内）のガス機器を使用すると、燃焼用の酸素が不足して、ガス機器が不完全な燃焼となり、CO（一酸化炭素）中毒になる恐れがあることを知っていますか。
あてはまるものを1つだけお選びください。（〇は1つだけ）

1. 知っている
2. 知らない

※平成24年度と、質問文一部変更

【結果】

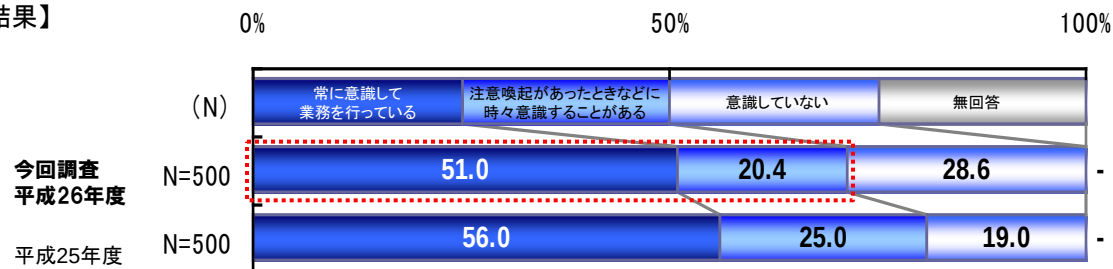


※平成23年度以前は非聴取

Q2 厨房等での業務中、CO中毒の危険性を意識しながら業務を行っていますか。（〇は1つだけ）

1. 常に意識して業務を行っている
2. 注意喚起があったときなどに時々意識することがある
3. 意識していない

【結果】



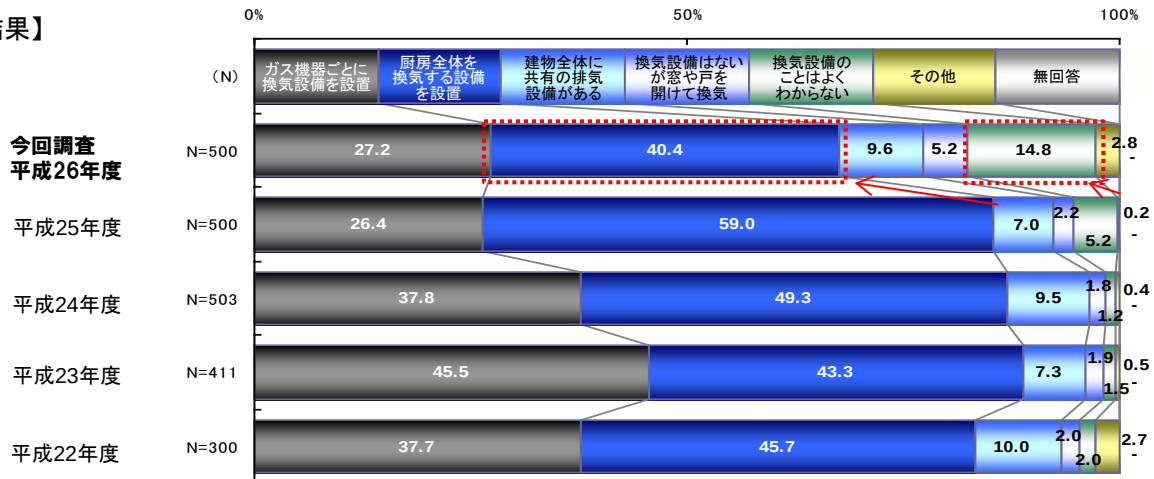
※平成24年度以前は非聴取

換気設備の設置状況を前年度と比較すると、「厨房全体を換気する設備を設置している」が約20ptほど減少し、「換気設備のことはよくわからない」が約10ptほど増加している。
また、ガス機器使用時の換気設備の作動状況は、「常に作動させている」が約10ptほど減少している。

Q3-1 あなたのお店では、換気扇などの換気設備をどのように設置していますか。あてはまるものを1つだけお選びください。
(○は1つだけ)

1. ガス機器ごとに換気設備をそれぞれ設置している ⇒Q3-2-1へお進みください
2. 厨房全体を換気する設備を設置している ⇒Q3-2-1へお進みください
3. 建物全体に共用の排気設備があり、これを利用している ⇒Q3-2-1へお進みください
4. 厨房には換気設備は設置していないが、窓や戸を開けて換気している
5. 換気設備のことはよくわからない
6. その他()

【結果】



【Q3-1で1・2・3のいずれかをお答えの方にお伺いします】

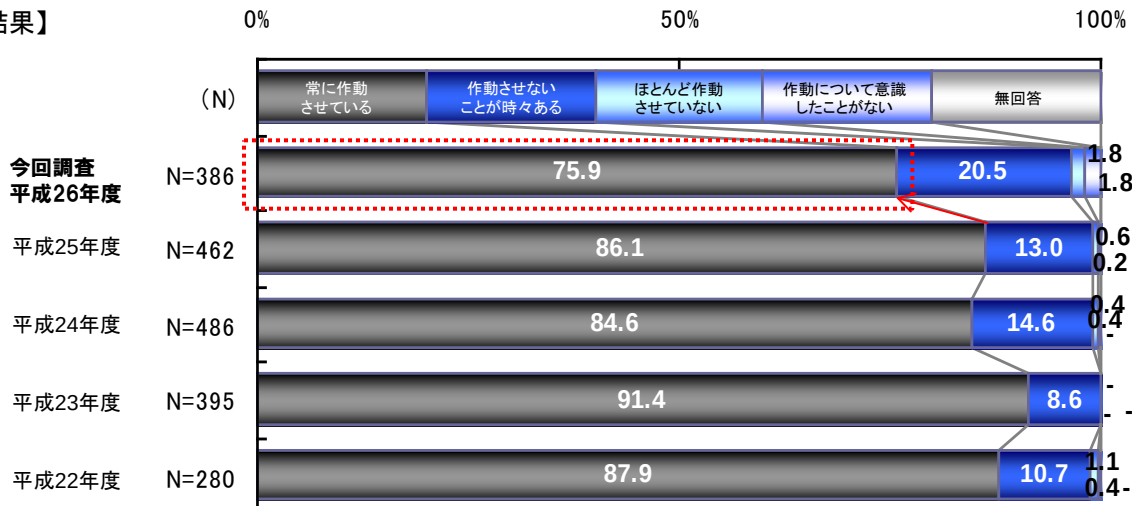
Q3-2-1 あなたのお店では、厨房でガス機器を使用する際に、どの程度換気設備を作動させていますか。(○は1つだけ)

1. 常に作動させている ⇒Q3-2-2、Q3-2-3へお進みください
2. 作動させないことが時々ある ⇒Q3-2-3へお進みください
3. ほとんど作動させていない ⇒Q3-2-3へお進みください
4. 作動について意識したことがない

※平成22年度以前は「ガス機器を使用する時に(は)、換気設備を(は)～」として聴取

※平成22年度以前は「換気をどの程度行っていますか」として聴取

【結果】



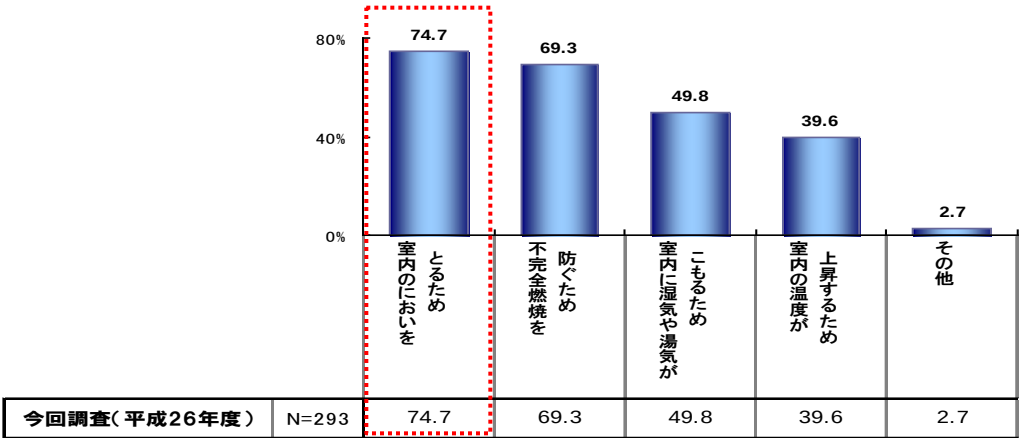
ガス機器使用の際に、換気設備を作動させる理由のトップは「室内のにおいをとるため」次いで「不完全燃焼を防ぐため」。

【Q3-2-1で1とお答えの方にお伺いします】

Q3-2-2 あなたのお店では、どのような理由からガス機器を使用する際に、換気設備を作動させるのですか。(〇はいくつでも)

1. 室内のにおいをとるため
2. 不完全燃焼を防ぐため
3. 室内の温度が上昇するため
4. 室内に湿気や湯気がこもるため
5. その他 ()

【結果】



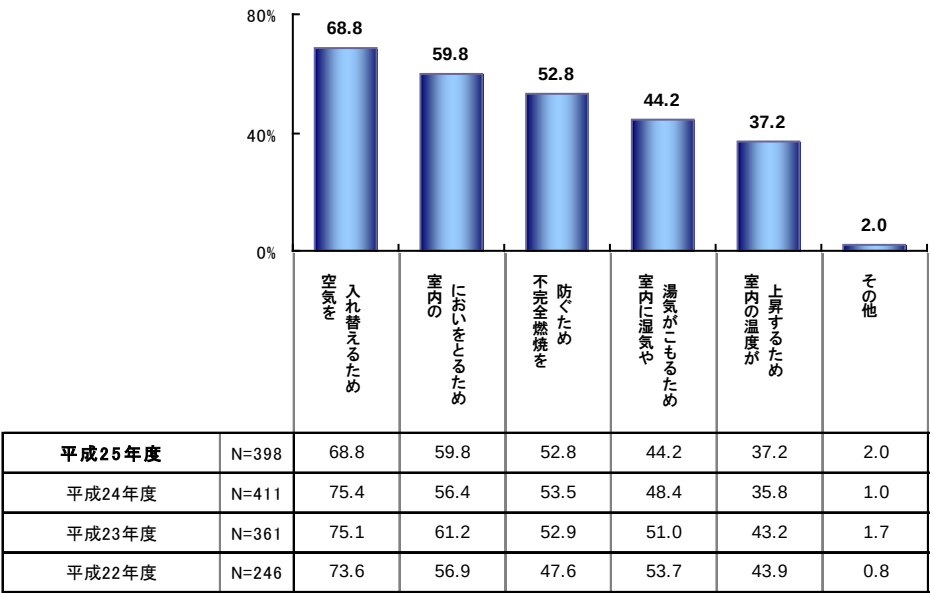
参考: 過去 同様設問調査結果

【「常に作動させている」とお答えの方にお伺いします】

あなたのお店では、どのような理由からガス機器を使用する際に、換気設備を作動させるのですか。(〇はいくつでも)

1. 空気を入れ替えるため
2. 室内のにおいをとるため
3. 不完全燃焼を防ぐため
4. 室内の温度が上昇するため
5. 室内に湿気や湯気がこもるため
6. その他 ()

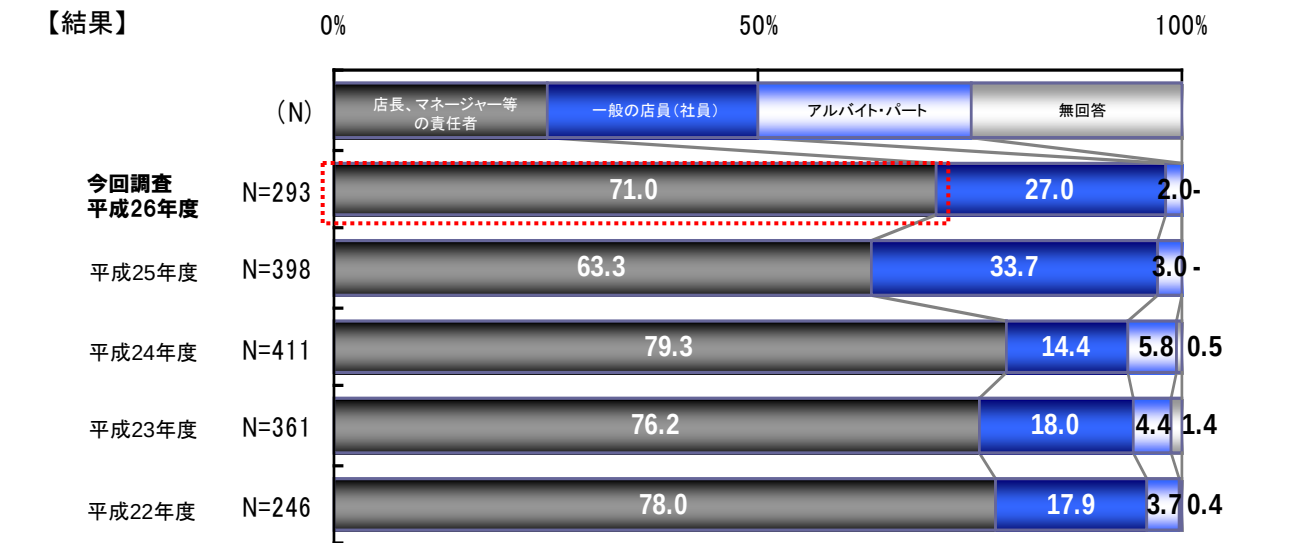
【結果】



ガス機器使用の際に「換気設備を常に作動させている」店舗の7割は、その作動を「店長、マネージャー等の責任者」が行っている。
また、「換気設備を作動させないことが時々ある・ほとんど作動させていない」店舗の、作動させていない理由のトップは「換気をするとき空調がきかないので」次いで「換気設備を作動させなくても安全なので」。

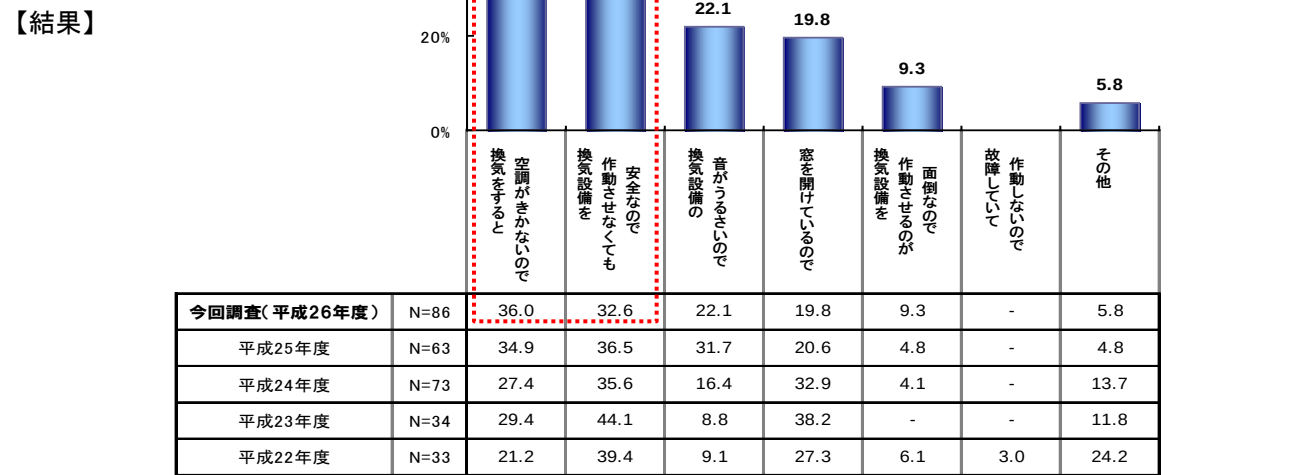
【Q3-2-1で1とお答えの方にお伺いします】
Q3-2-3 あなたの店で換気設備を作動させるのは、主に誰ですか。(〇は1つだけ)

1. 店長、マネージャー等の責任者
2. 一般の店員(社員)
3. アルバイト・パート



【Q3-2-1で2・3とお答えの方にお伺いします】
Q3-3 あなたの店では、どのような理由からガス機器を使用する際に、換気設備を作動させないのですか。(〇はいくつでも)

1. 換気設備を作動させるのが面倒なので
2. 換気設備を作動させなくても安全なので
3. 換気をするとき空調(冷暖房)がきかないので
4. 換気設備の音がうるさいので
5. 窓を開けているので
6. 故障していて作動しないので
7. その他 ()



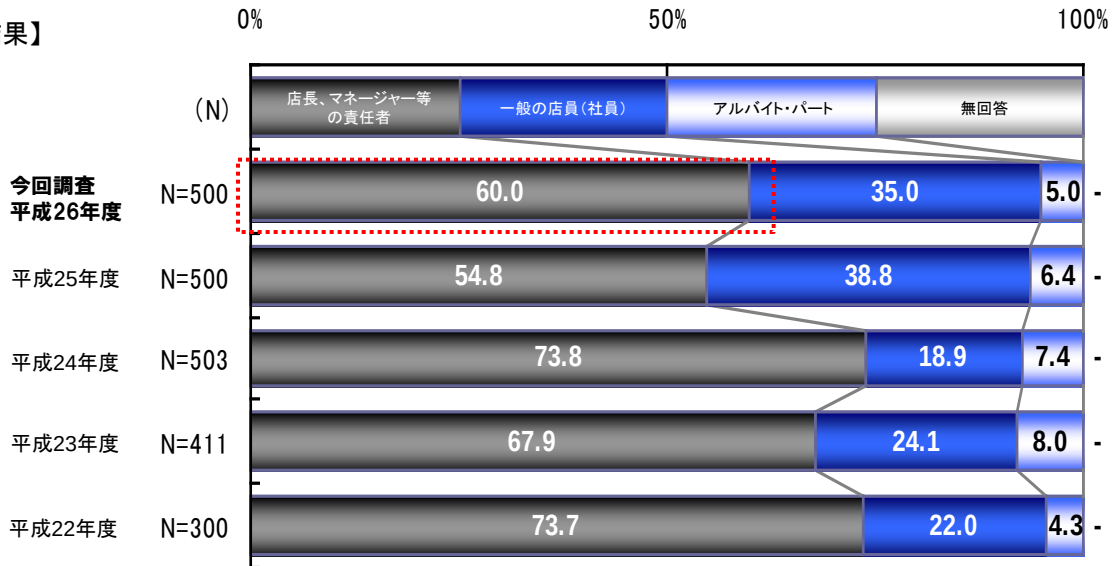
店舗でガス機器を主に使用しているのは、6割が「店長、マネージャー等の責任者」次いで「一般の店員」。

【全員にお伺いします】

Q4 あなたのお店では、ガス機器を使用するのは、主に誰ですか。(〇は1つだけ)

1. 店長、マネージャー等の責任者
2. 一般の店員(社員)
3. アルバイト・パート

【結果】



店舗における換気設備の清掃や点検の実施は約7割に留まり(「定期的実施+時々実施」計)、経年で見ると減少傾向。そしてその実施を主に行っているのは「店長、マネージャー等の責任者」が7割でトップ。

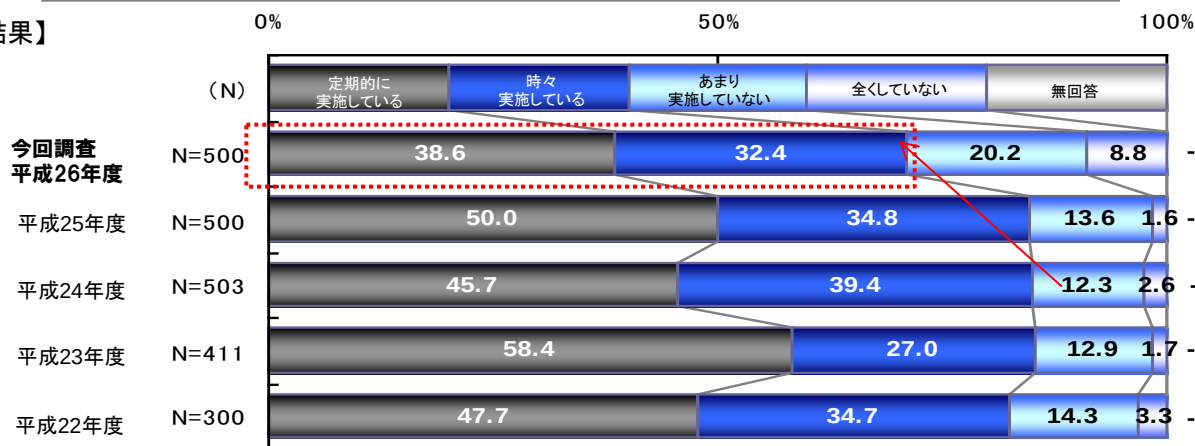
次に、換気設備の清掃・メンテナンスについてお伺いします。

【全員にお伺いします】

Q5-1 あなたのお店では、換気設備の清掃や点検(給気口・排気口の清掃や給気・排気状況の点検など)を実施していますか。(〇は1つだけ)

- | | |
|----------------|---------------|
| 1. 定期的実施している ※ | ⇒Q5-1へお進みください |
| 2. 時々実施している | ⇒Q5-1へお進みください |
| 3. あまり実施していない | ⇒Q5-2へお進みください |
| 4. 全くしていない | ⇒Q5-2へお進みください |

【結果】

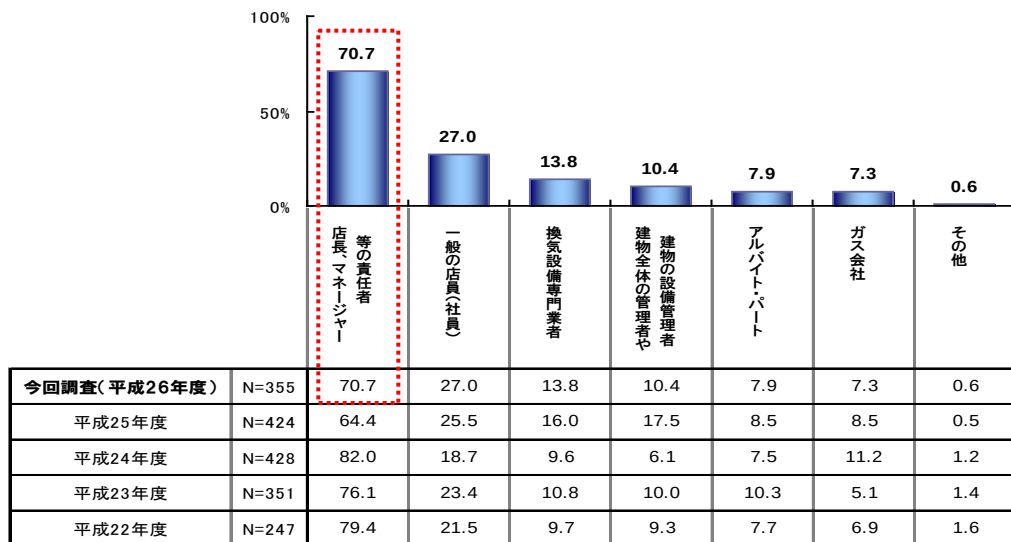


【Q5-1で1・2「実施している」とお答えの方にお伺いします】

Q5-2 あなたのお店で、換気設備の清掃や点検を実施しているのは主にどなたですか。(〇はいくつでも)

- | | |
|----------------------|-------------|
| 1. 店長、マネージャー等の責任者 | 5. 換気設備専門業者 |
| 2. 一般の店員(社員) | 6. ガス会社 |
| 3. アルバイト・パート | 7. その他 () |
| 4. 建物全体の管理者や建物の設備管理者 | |

【結果】



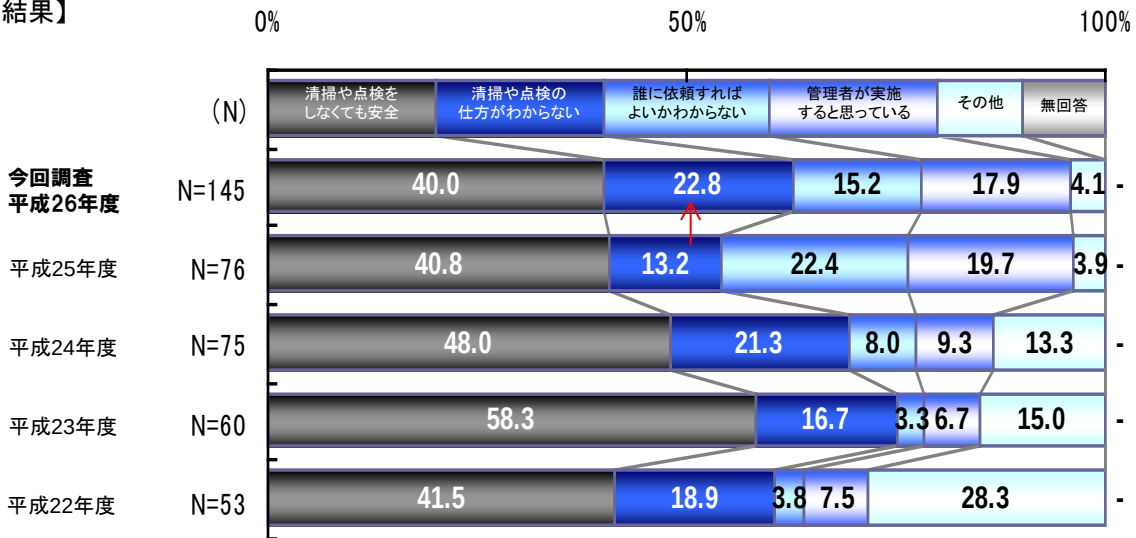
換気設備の清掃や点検を行っていない理由のトップは「清掃や点検をしなくても安全と思うため」。次いで「清掃や点検の仕方がわからないため」で、前年度よりも9.6pt増加している。

【Q5-1で3・4「実施していない」とお答えの方にお伺いします】

Q5-3 換気設備の清掃や点検を実施していない理由は何ですか。あてはまるものを1つだけお選びください。(〇は1つだけ)

1. 清掃や点検をしなくても安全と思うため
2. 清掃や点検の仕方がわからないため
3. 清掃や点検を誰に依頼すればよいかわからないため
4. 建物全体の管理者や建物の設備管理者が実施すると思っているため
5. その他 ()

【結果】



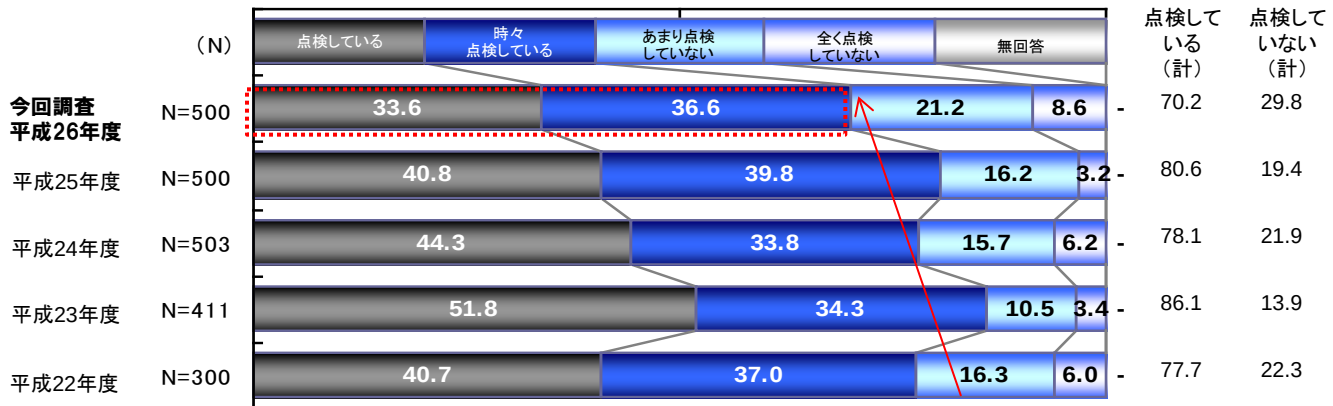
厨房等のガス機器を点検している(「点検している」+「時々点検している」計)のは7割で、経年で見ると減少傾向にある。また点検を主にしているトップは「店長、マネージャー等の責任者」で約6割。

【全員にお伺いします】

Q6-1 あなたのお店では、厨房など業務で使用しているガス機器を定期的に点検していますか。あてはまるものを1つだけお答えください。(○は1つだけ)

1. 点検している ⇒Q6-2へお進みください
2. 時々点検している ⇒Q6-2へお進みください
3. あまり点検していない ⇒Q6-3へお進みください
4. 全く点検していない ⇒Q6-3へお進みください

【結果】

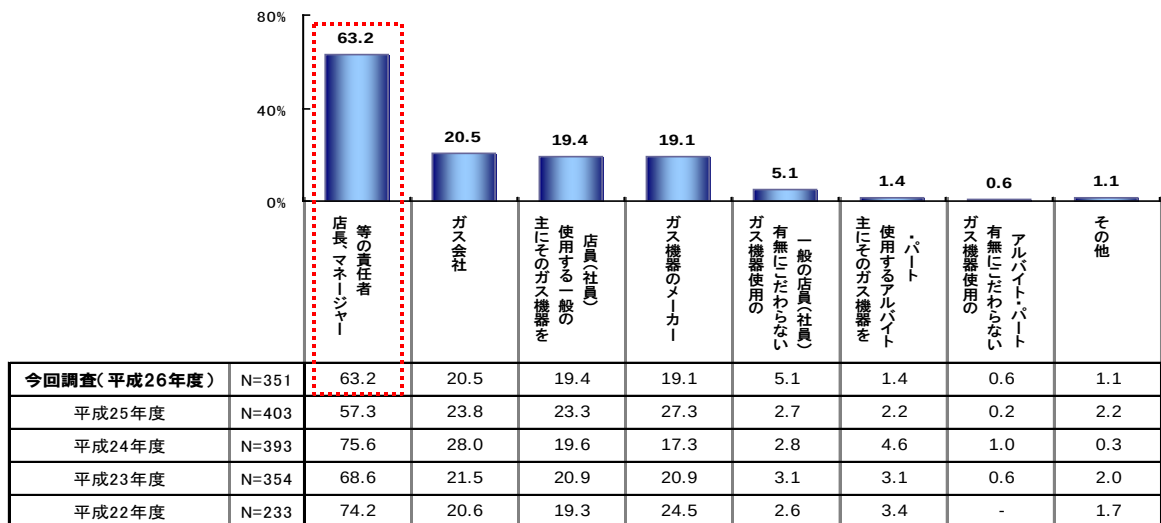


【Q6-1で1・2「点検している」とお答えの方にお伺いします】

Q6-2 あなたのお店で、厨房など業務で使用しているガス機器を定期的に点検しているのは主にどなたですか。(○はいくつでも)

1. 店長、マネージャー等の責任者
2. 主にそのガス機器を使用する一般の店員(社員)
3. ガス機器使用の有無にこだわらない一般の店員(社員)
4. 主にそのガス機器を使用するアルバイト・パート
5. ガス機器使用の有無にこだわらないアルバイト・パート
6. ガス機器のメーカー
7. ガス会社
8. その他 ()

【結果】



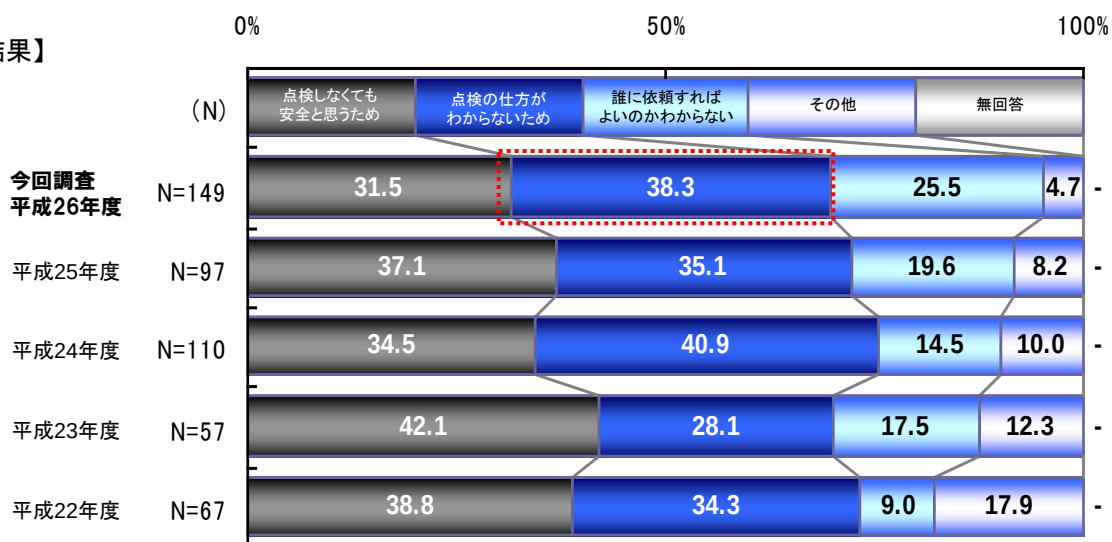
厨房等のガス機器を点検していない理由のトップは「点検の仕方がわからないため」、次いで「点検しなくても安全と思うため」。

【Q6－1で3・4「点検していない」とお答えの方にお伺いします】

Q6－3 ガス機器の点検をしていない理由は何ですか。あてはまるものを1つだけお答えください。(〇は1つだけ)

1. 点検しなくても安全と思うため
2. 点検の仕方がわからないため
3. 点検を誰に依頼すればよいのか、わからないため
4. その他 ()

【結果】



店舗の都市ガス警報器設置は約7割弱。前年度調査と比較すると、「設置していない」が約10pt増加している。

都市ガス警報機の設置についてお伺いします。

【全員にお伺いします】

Q7-1 あなたのお店には都市ガス警報器を設置していますか。(○は1つだけ)

1. 設置している ⇒Q7-2、Q7-3へお進みください
2. 設置していない
3. 都市ガス警報器以外の警報器を設置している ⇒Q7-4へお進みください

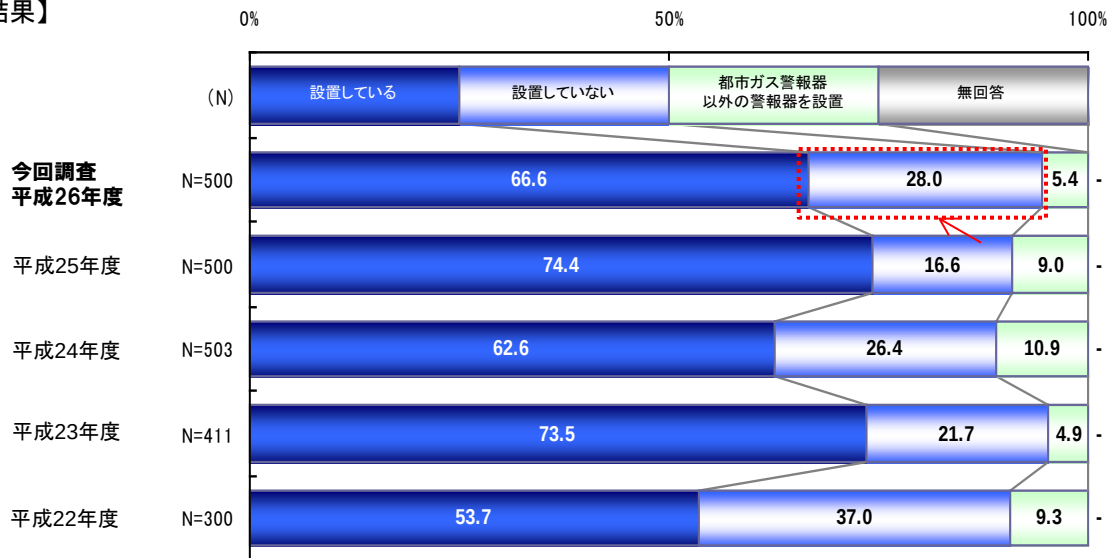


壁掛け式



天井設置式

【結果】



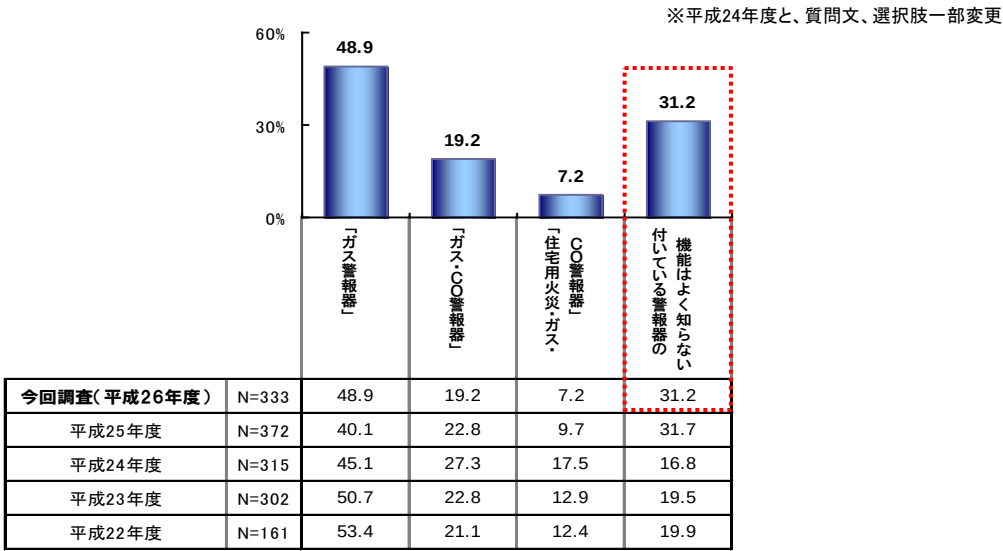
店舗に設置されている都市ガス警報器のトップは「ガス警報器タイプ」だが、「機能をよく知らない」も依然として多く、設置だけでなく機能の理解促進についても引き続き必要と考えられる。
また、設置理由としては「ガス漏れなどが起きたときに安心」が約8割弱でトップ。

【Q7-1で「1. 設置している」とお答えの方にお伺いします】

Q7-2 あなたのお店では都市ガス警報器を設置しているとのことですが、設置されている警報器は、どの機能が付いたタイプですか。次の中からお答えください。（〇はいくつでも）

1. 「ガス漏れ警報」の機能が付いているタイプ（名称：「ガス警報器」） ※
2. 「ガス漏れ警報」と「CO警報（機器の不完全燃焼等で発生する一酸化炭素を検知し警報）」の機能が付いている複合型のタイプ（名称：「ガス・CO警報器」） ※
3. 「ガス漏れ警報」と「CO警報（機器の不完全燃焼等で発生する一酸化炭素を検知し警報）」と「火災警報」の機能が付いている複合型のタイプ（名称：「住宅用火災・ガス・CO警報器」） ※
4. 付いている警報器の機能はよく知らない

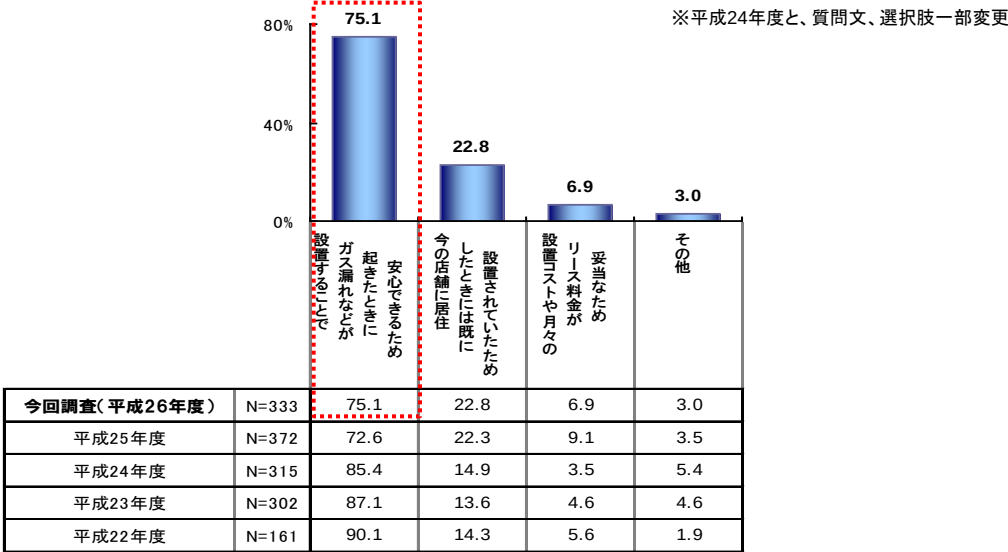
【結果】



Q7-3 あなたのお店では都市ガス警報器を設置しているとのことですが、その理由を次の中からお答えください。（〇はいくつでも）

1. 設置することでガス漏れなどが起きたときに安心できるため
2. 設置コストや月々のリース料金が妥当なため ※
3. 今の店舗に居住したときには既に設置されていたため
4. その他（ ）

【結果】



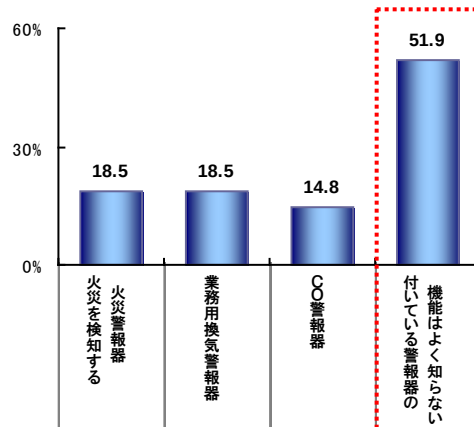
店舗に都市ガス警報器以外の警報器を設置していても、半数が「付いている警報器の機能はよく知らない」としている。

【Q7-1で「3. 都市ガス警報器以外の警報器を設置している」とお答えの方にお伺いします】

Q7-4 あなたはお店に都市ガス警報器以外の警報器を設置しているとのことですが、設置されている警報器はどの警報器ですか。次の中からお答えください。(〇はいくつでも)

1. 火災を検知する火災警報器(熱感知式・煙感知式)
2. CO警報器(機器の不完全燃焼等で発生するCOを検知し警報)
3. 業務用換気警報器(COの発生状況により換気を促す警報器)
4. 付いている警報器の機能はよく知らない

【結果】



今回調査(平成26年度)	N=27	18.5	18.5	14.8	51.9
平成25年度	N=45	37.8	6.7	22.2	46.7
平成24年度	N=55	70.9	5.5	18.2	10.9
平成23年度	N=20	75.0	15.0	35.0	5.0
平成22年度	N=28	75.0	7.1	14.3	7.1

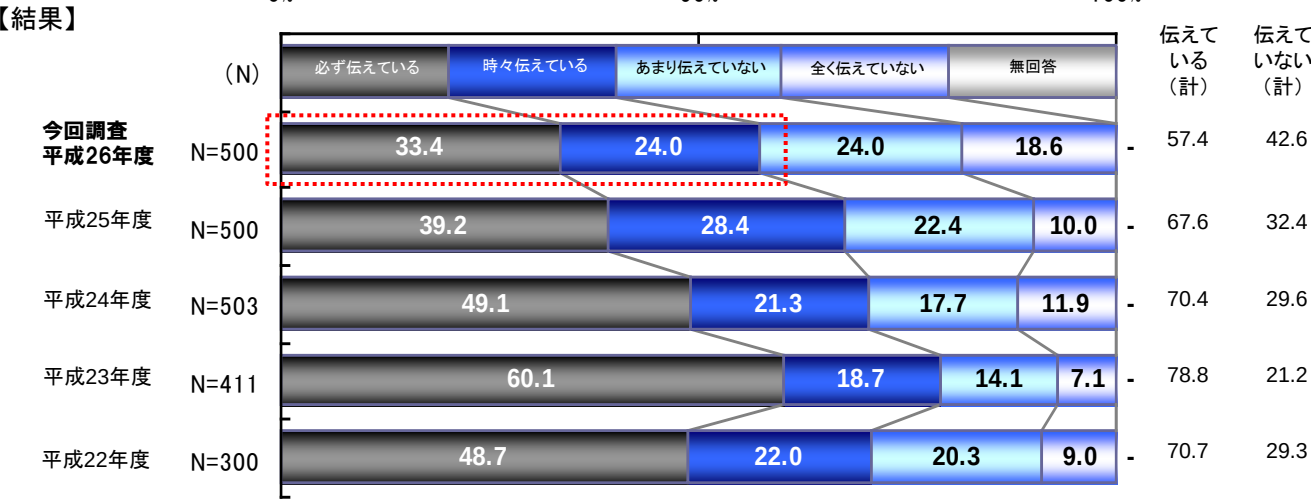
ガスの使用に係わる注意事項を従業員に伝えている店舗は、6割弱に留まる。
伝えている理由は「事故の防止に役立つ」が9割でトップ。

従業員等への周知についてお伺いします。

【全員にお伺いします】

Q8-1 あなたののお店では、換気などの「ガスの使用に係る注意事項」を従業員等に伝えていますか。(〇は1つだけ)

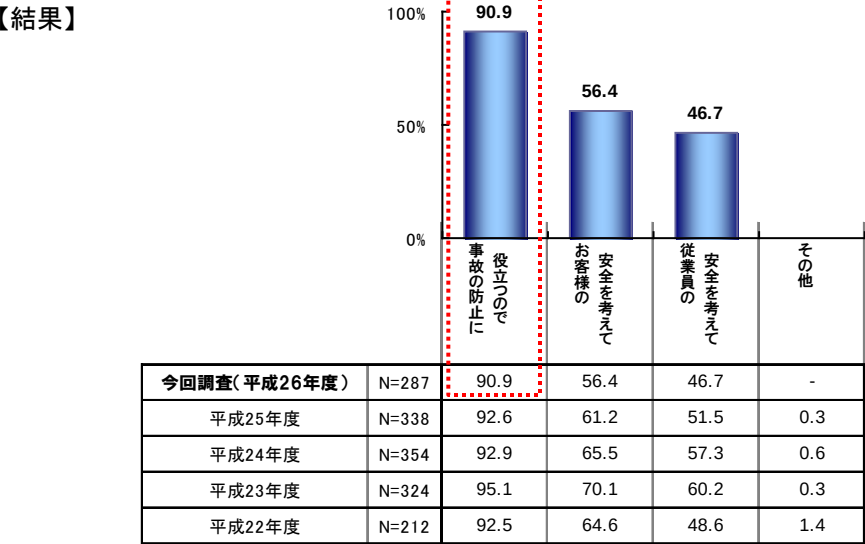
1. 必ず伝えている ⇒Q8-1へお進みください
2. 時々伝えている ⇒Q8-1へお進みください
3. あまり伝えていない ⇒Q8-2へお進みください
4. 全く伝えていない ⇒Q8-2へお進みください



【Q8-1で1・2「伝えている」とお答えの方にお伺いします】

Q8-2 あなたののお店では、どのような理由から、換気などの「ガスの使用に係る注意事項」を従業員等に伝えていますか。(〇はいくつでも)

1. 事故の防止に役立つので
2. お客様の安全を考えて
3. 従業員の安全を考えて
4. その他 ()



ガスの使用に係わる注意事項に従業員に伝えていない理由は「伝えなくても、当たり前のことなので」が5割弱でトップ。

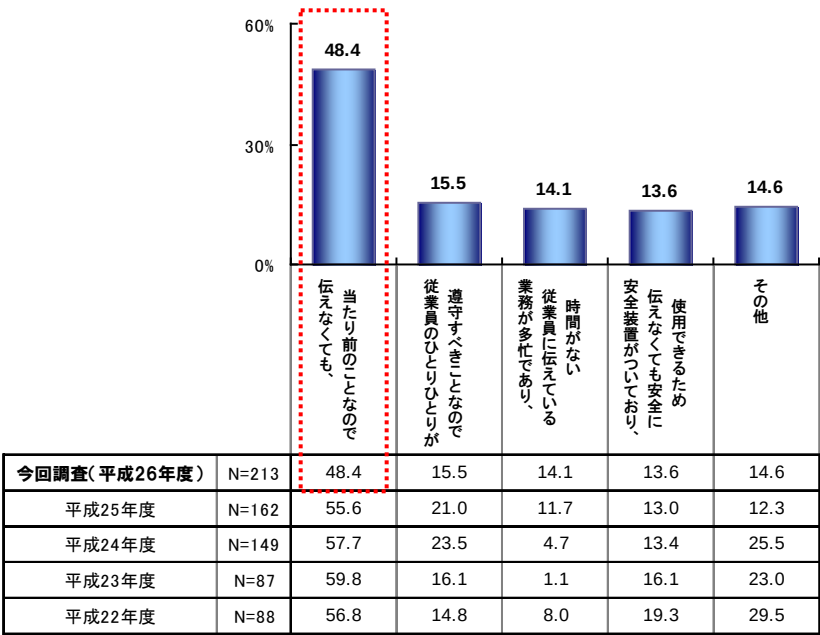
【Q8－1で3・4「伝えていない」とお答えの方にお伺いします】

Q8－3 あなたのお店では、どのような理由から、換気などの「ガスの使用に係る注意事項」に従業員等に伝えていないのですか。
(〇はいくつでも)

1. 伝えなくても、当たり前のことなので
2. 従業員のひとりひとりが遵守すべきことなので
3. 安全装置がついており、伝えなくても安全に使用できるため
4. 業務が多忙であり、従業員に伝えている時間がない ※
5. その他 ()

※平成22年度以前は、「業務が多忙であり「ガスの使用に係る注意事項」に従業員に～」として聴取

【結果】



最後に、あなたのお店のことについてお伺いします。

F2 あなたの店の従業員数(アルバイト・パートを含む)をお答えください。(○は1つだけ)

1. 1～4人

2. 5～9人

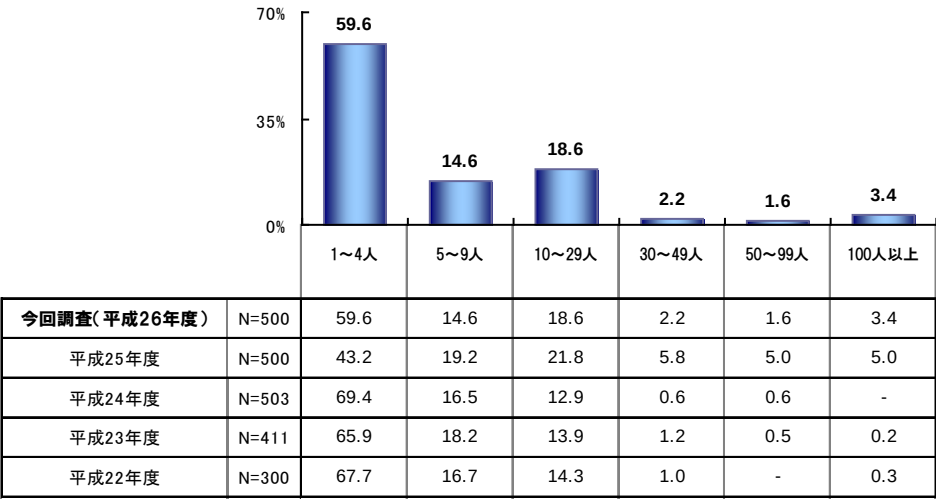
3. 10～29人

4. 30～49人

5. 50～99人

6. 100人以上

【結果】



F3 あなたの店の建築形態をお答えください。(○は1つだけ)

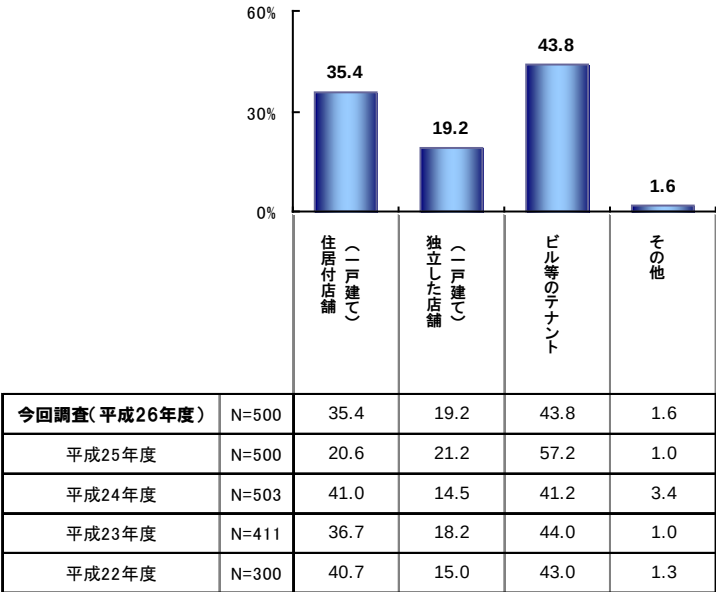
1. 住居付店舗(一戸建て)

2. 独立した店舗(一戸建て)

3. ビル等のテナント

4. その他 ()

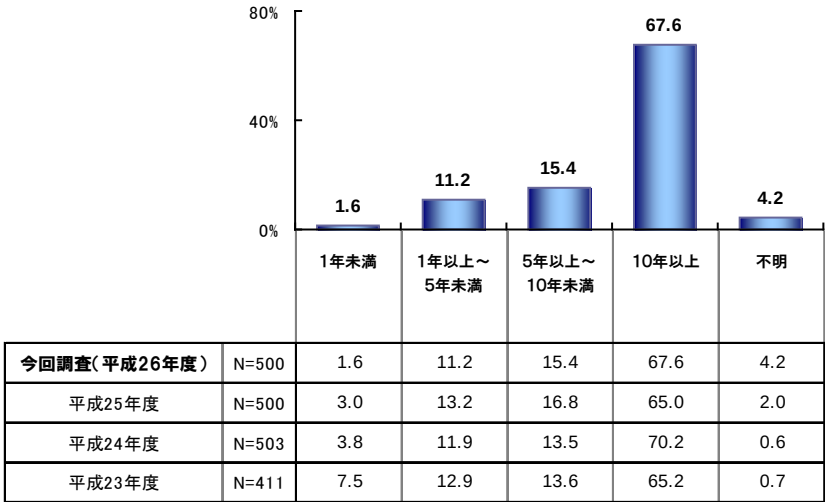
【結果】



F4 あなたの店の開業年数（経年年数）をお答えください。（○は1つだけ）

1. 1年未満
2. 1年以上～5年未満
3. 5年以上～10年未満
4. 10年以上
5. 不明

【結果】



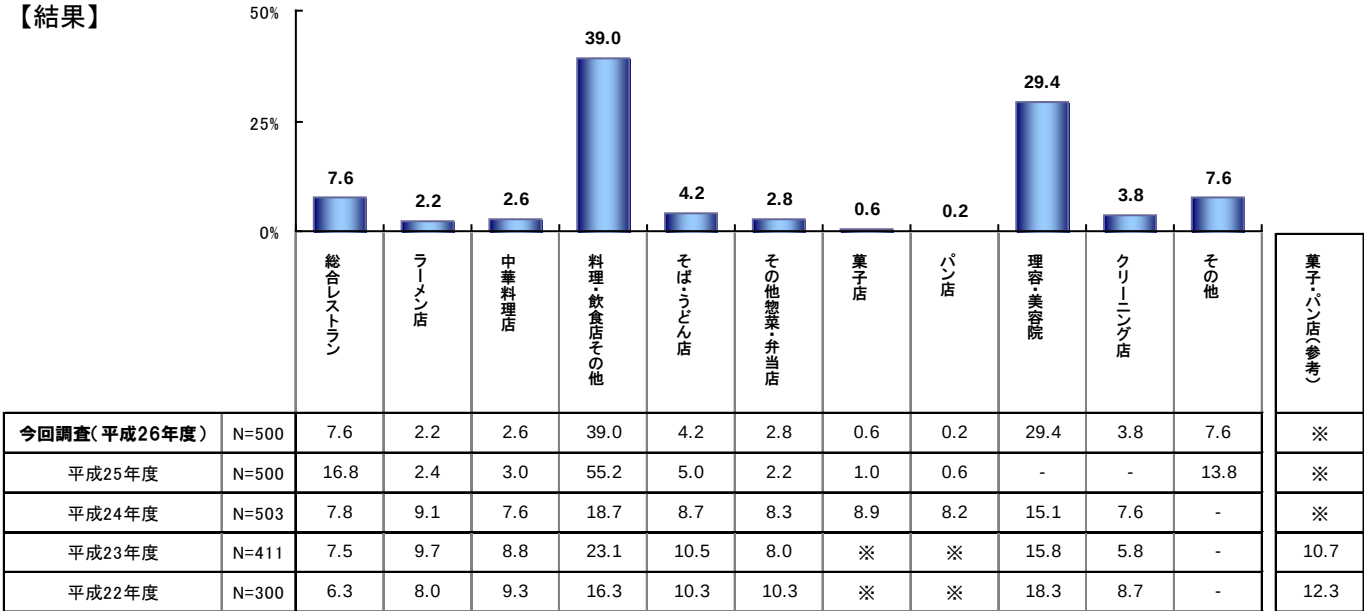
※平成22年度以前は非聴取

F5 あなたの店は次の業種のどれにあたりますか。（○は1つだけ）

1. 総合レストラン
2. ラーメン店
3. 中華料理店
4. 料理・飲食店その他
5. そば・うどん店
6. その他惣菜・弁当店
7. 菓子店 ※
8. パン店 ※
9. 理容・美容院
10. クリーニング店
11. その他（ ）

※平成23年度以前は「菓子・パン店」として聴取

【結果】



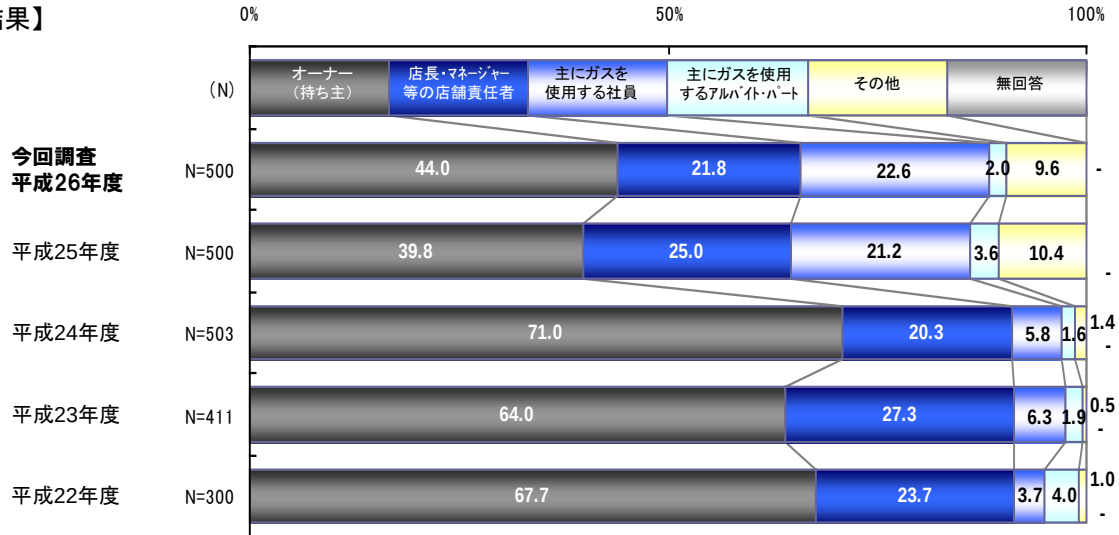
※は非聴取

F6 あなたはのお店でどのようなお立場ですか。(〇は1つだけ)

- | | |
|-------------------------|-----------------------|
| 1. オーナー(持ち主) | 4. 主にガスを使用するアルバイト・パート |
| 2. 店長、マネージャー等の店舗責任者 | 5. その他 () |
| 3. 主にガスを使用する一般の社員(社員) ※ | |

※平成24年度以前は「あなたはこのお店の持ち主(オーナー)ですか。」として聴取

【結果】



総括

業務用需要家調査について

- ①換気をしないガス機器の使用が、一酸化炭素中毒につながる可能性の認知は9割弱。
一般需要家に比べれば一酸化炭素中毒への知識は高いが経年で見ると下降傾向にある。
- ②店舗における換気の設備・作動、清掃や点検の実施は減少傾向にある。その理由として増加しているのが「清掃や点検の仕方がわからない」。
実施の注意喚起と同時に、実施方法の周知が必要。
- ③また、ガス機器の点検実施も同様に減少傾向にあり、「点検の仕方がわからない」という理由が増加している。
ガス機器においても点検実施の注意喚起と実施方法の周知が必要。
- ④店舗の都市ガス警報器設置は減少傾向。加えて、設置されていてもその機能についての理解がまだ不十分な状態と言える。
- ⑤ガスの使用に係わる注意事項に従業員等に伝えているのは6割弱に留まり、伝えなくても当たり前のことだと考えられている。
現状、換気設備の作動やガス機器の点検を行っているのは7割が「店長、マネージャー等の責任者」であり、その層への一層の啓発が必要と考えられる。